

機関投資家様向け会社説明会

2018年12月3日

山口フィナンシャルグループ 代表取締役 吉村 猛



目次

【2018年度中間決算について】

中間決算サマリー(FG連結)	P2
経常利益増減要因(FG連結)	P3
中間決算サマリー(銀行単体)	P4
貸出金の状況①(貸出金残高)	P5
貸出金の状況②(利回り・利息)	P6
貸出金の状況③(住宅ローン・アパートローン)	P7
不良債権の状況(グループ内銀行合算)	P8
役務関連収益の状況	P9
有価証券の状況	P10
自己資本比率(FG連結・銀行単体)	P11
配当	P12
通期業績予想(FG連結・銀行単体)	P13

【今後の事業戦略について】

地域との共通価値創造	P14
法人事業部門	P15
リテール事業部門	P17
地域活性化に向けた取組み	P18
起業家支援の取組み	P19
地域産品・資源のブランディング	P20
新たな事業領域の拡大	P21
店舗(リアルチャネル)改革	P22
テクノロジーの活用	P23
政策投資株式への対応	P24
以降 参考資料編	

2018年度中間決算について

中間決算サマリー(FG連結)

- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比▲57億円の130億円となった。
- 与信費用の増加(+31億円)、有価証券関連収益の減少(▲23億円)、役務収益の減少(▲13億円)が要因。

(億円)	2017年度 (中間期)	2018年度 (中間期)	前年 同期比
経常収益	816	828	+11
コア業務粗利益	546	528	▲ 17
資金利益	460	458	▲ 1
うち預貸金利益	348	354	+5
役務取引等利益	91	78	▲ 13
経費(△)(臨時処理分除く)	344	361	+16
コア業務純益	201	167	▲ 33
経常利益	272	191	▲ 80
親会社株主に帰属する当期純利益	187	130	▲ 57
与信関係費用(△)	▲ 10	21	+31
経費(△)(臨時処理分含む)	353	362	+9
有価証券関連収益	177	153	▲ 23

※単位未満切捨て表示

決算概要

増収減益

- ・経常収益は国債等債券売却益や貸出金利息の増加等を主因として、前年同期比+11億円の828億円。
- ・経常利益は与信費用の増加、有価証券関連収益の減少等を主因として、前年比▲80億円の191億円。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は130億円(前年比▲57億円)。

連単差

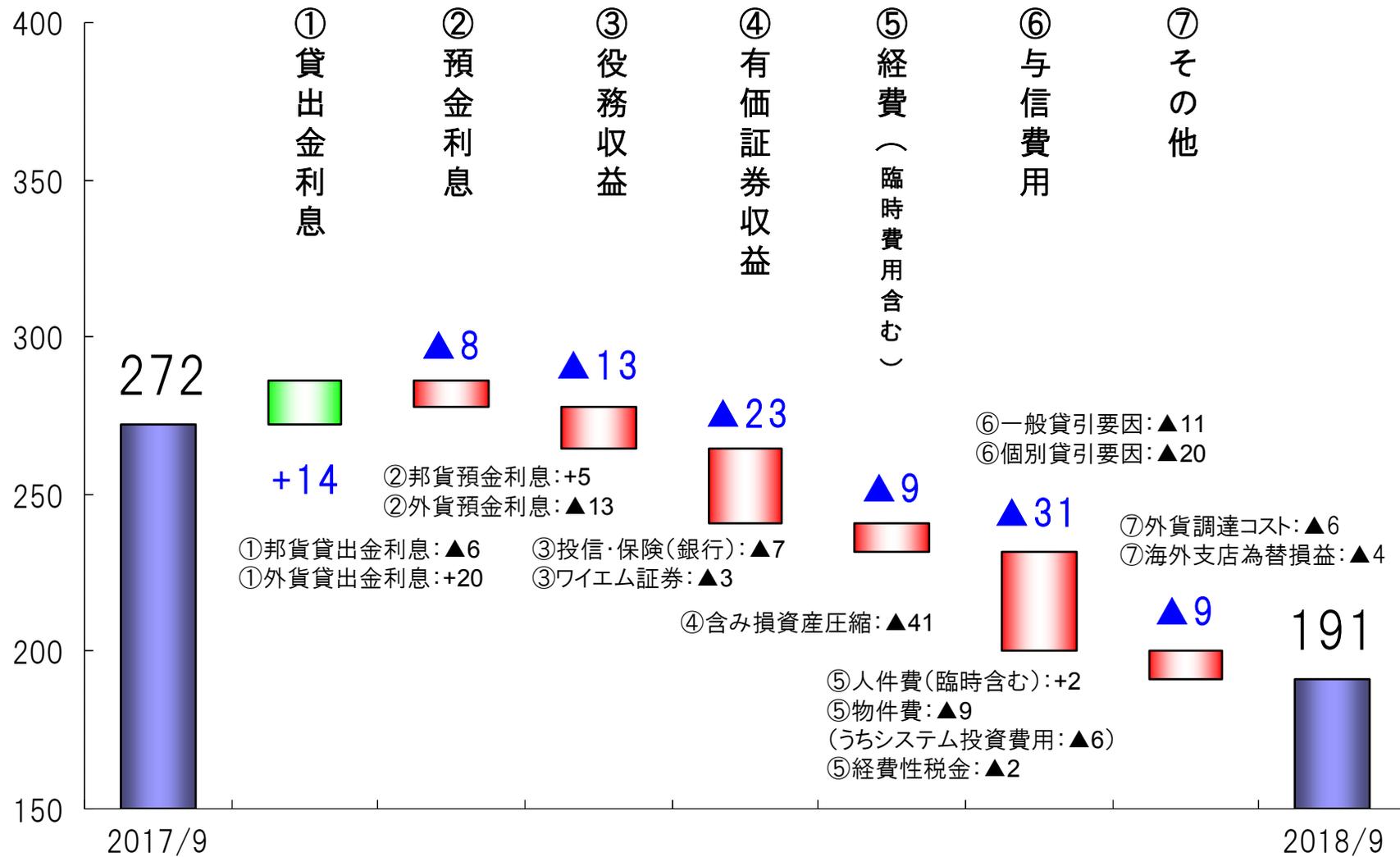
銀行3行合算当期純利益	156億円
FG単体	▲31億円
銀行外グループ会社	+6億円
のれん償却費等	▲1億円
YMFG連結当期純利益	130億円

Yamaguchi Financial Group

經常利益增減要因(FG連結)

【FG連結經常利益(中間期)】

(単位:億円)



Yamaguchi Financial Group

中間決算サマリー(銀行単体)

●グループ内銀行(単体)は、いずれも減益。与信費用が増加したほか、役務収益(預り資産関連収益)が苦戦。

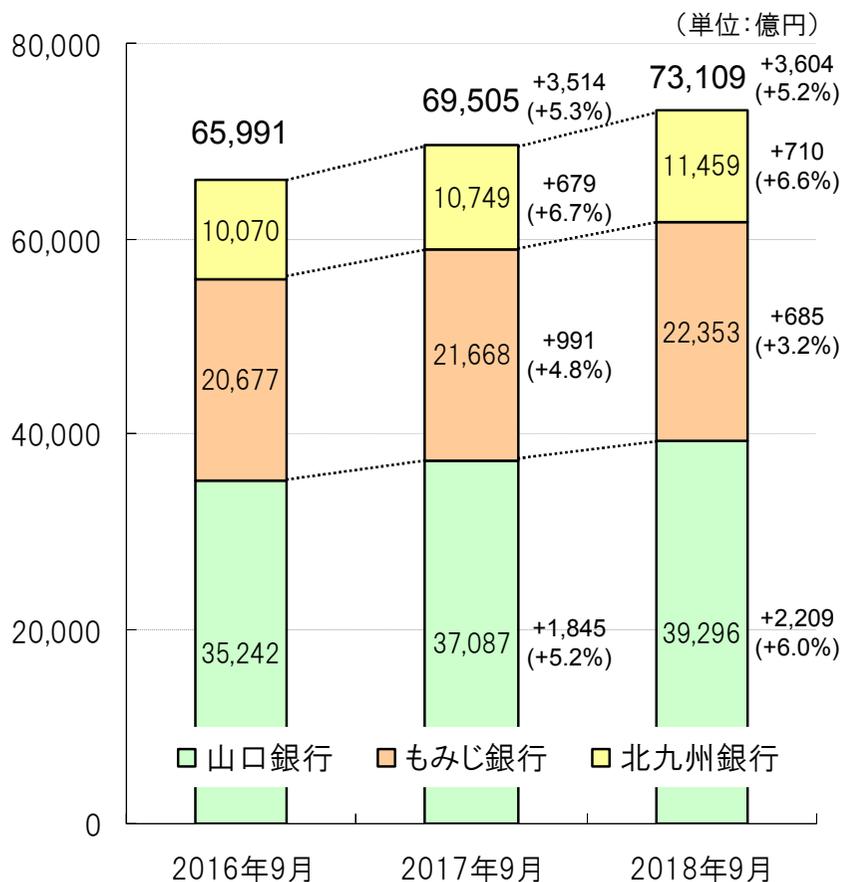
(億円)	3行合算		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
経常収益	734	+14	452	+30	209	▲ 14	71	▲ 1
コア業務粗利益	476	▲ 16	264	+0	154	▲ 17	57	▲ 0
資金利益	463	+0	265	+12	143	▲ 12	55	+1
うち預貸金利益	356	+6	190	+5	111	▲ 1	54	+2
役務取引等利益	48	▲ 13	33	▲ 4	12	▲ 7	1	▲ 1
経費(△)(臨時処理分除く)	290	+3	143	+4	108	+0	38	▲ 1
コア業務純益	186	▲ 20	121	▲ 3	46	▲ 17	18	+1
経常利益	210	▲ 63	142	▲ 45	46	▲ 17	21	▲ 1
親会社株主に帰属する当期純利益	156	▲ 44	105	▲ 32	35	▲ 11	15	▲ 0
与信関係費用(△)	18	+28	17	+18	2	+7	▲ 1	+2
経費(△)(臨時処理分含む)	291	▲ 4	143	▲ 2	108	▲ 1	39	▲ 1
有価証券関連収益	150	▲ 23	108	▲ 22	39	▲ 1	2	+0

※単位未満切捨て表示

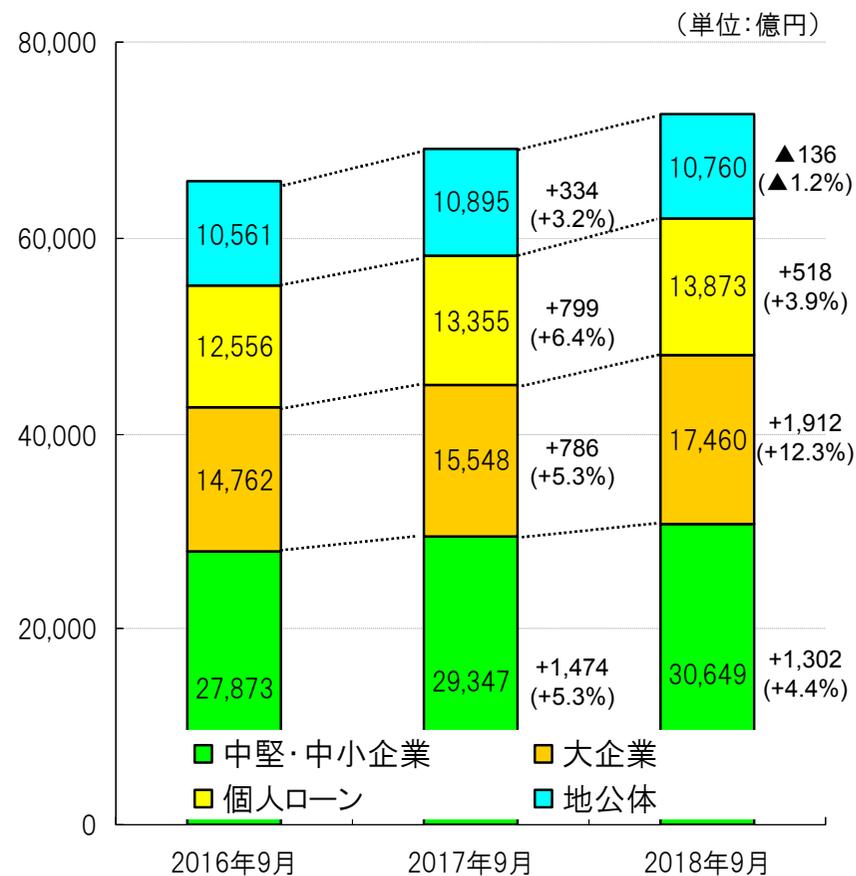
貸出金の状況①(貸出金残高)

- 3行合算の貸出金残高は前年比3,600億円超増加(+5.2%)。
- 大企業向け貸出が大幅に増加したほか、中堅・中小企業向け、個人ローンも着実に増加。

【貸出金末残(銀行別)】



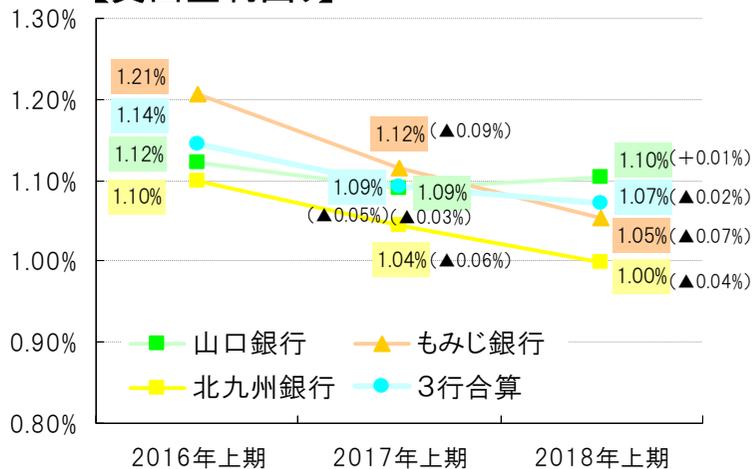
【国内貸出金末残(事業体別:3行合算)】



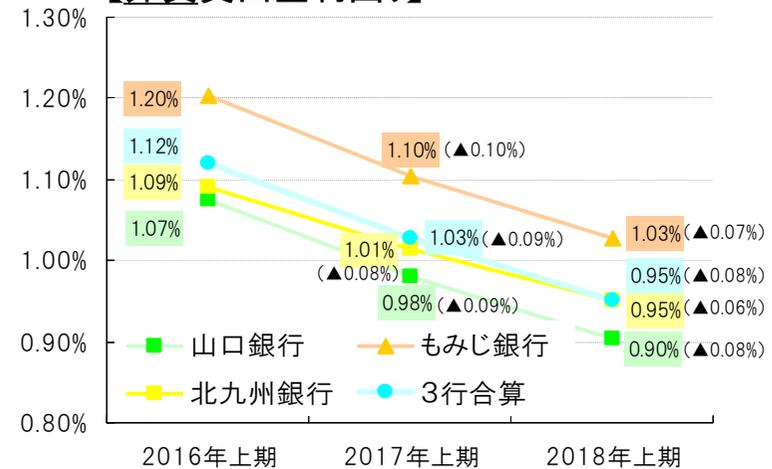
貸出金の状況②(利回り・利息)

- 邦貨貸出金利回りは、依然として低下しているものの、昨年度と比較して低下幅は鈍化。
- 貸出金利息額ベースでは、利回りの低下を残高増加でカバー。法人向け利息は下げ止まりの兆候。

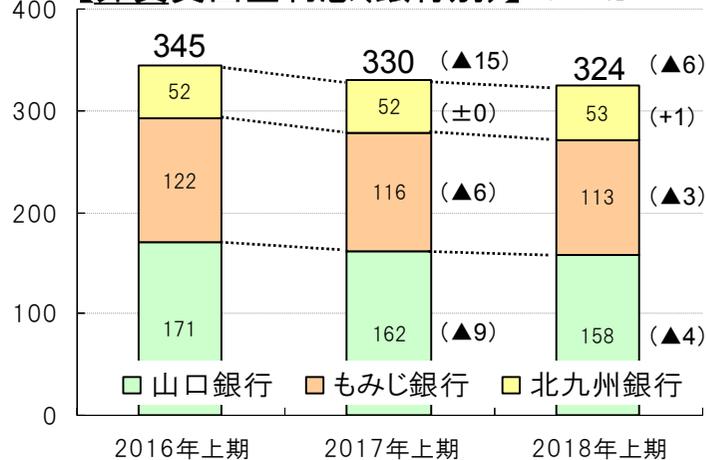
【貸出金利回り】



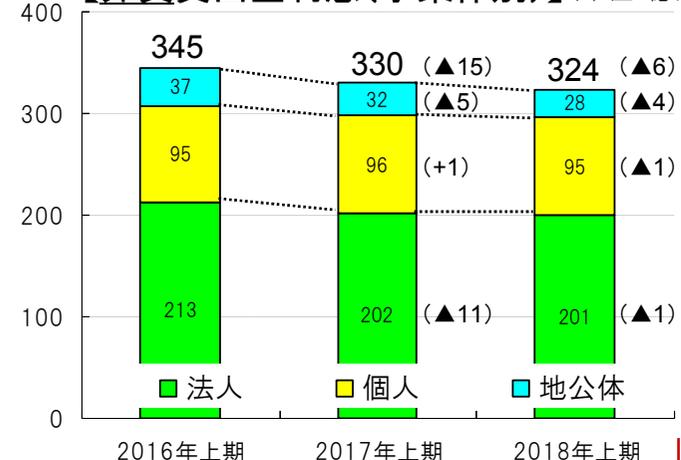
【邦貨貸出金利回り】



【邦貨貸出金利息(銀行別)】(単位:億円)



【邦貨貸出金利息(事業体別)】(単位:億円)

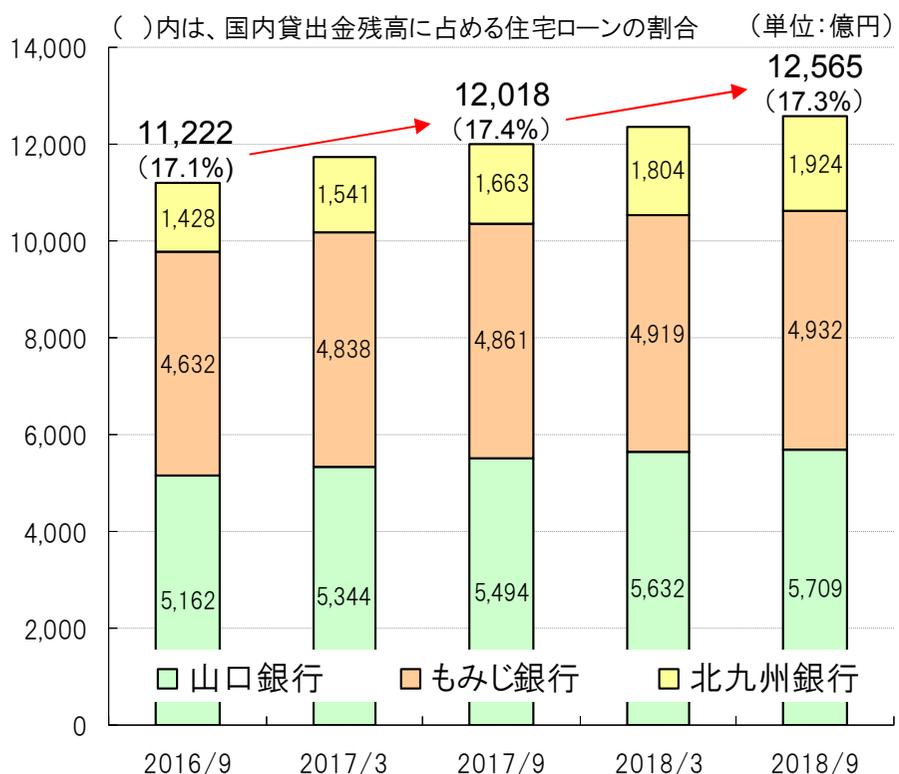


| Group

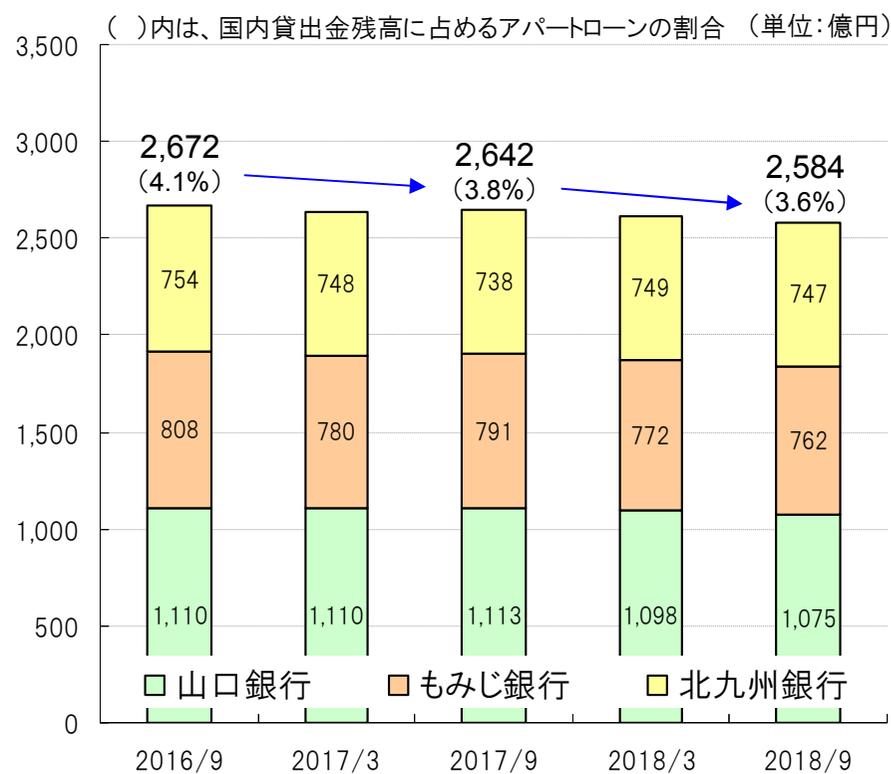
貸出金の状況③(住宅ローン・アパートローン)

- 住宅ローンは着実に増加している一方、アパートローンは漸減。
- 国内貸出金に占めるアパートローンの割合は、3.6%と低位に留まる。

【住宅ローン残高(末残)】



【アパートローン残高(末残)】(賃貸業向け個人貸出含む)

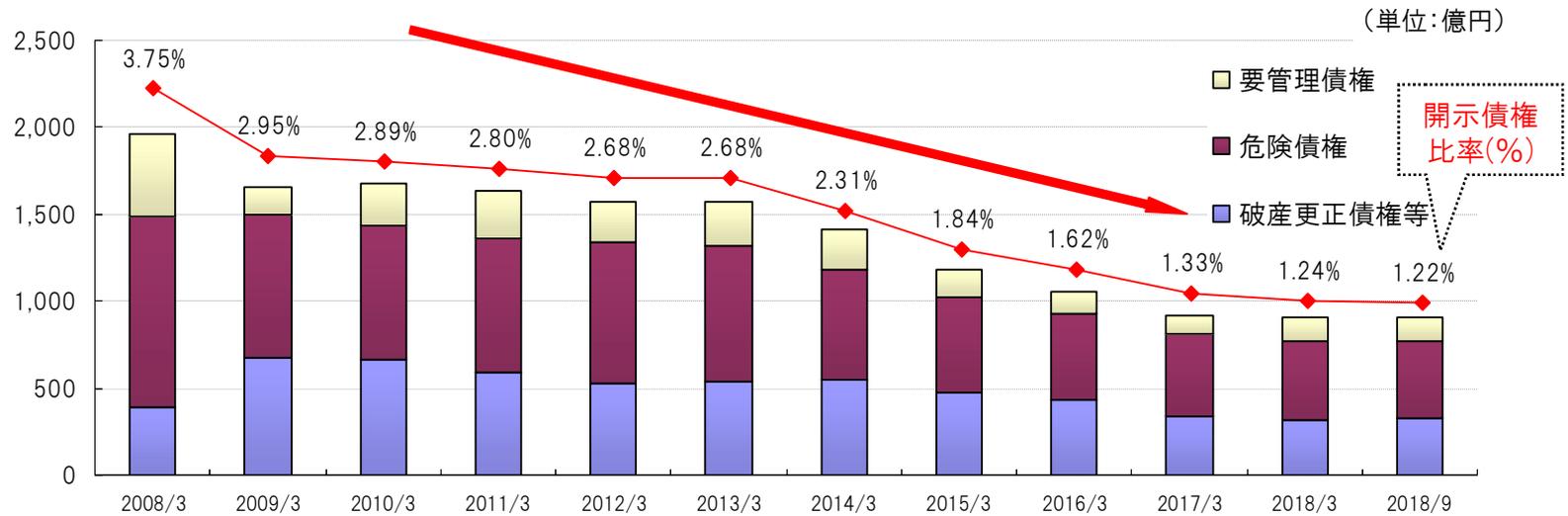


※賃貸用マンション(区分所有)への融資残高: 100億円(2018/9)

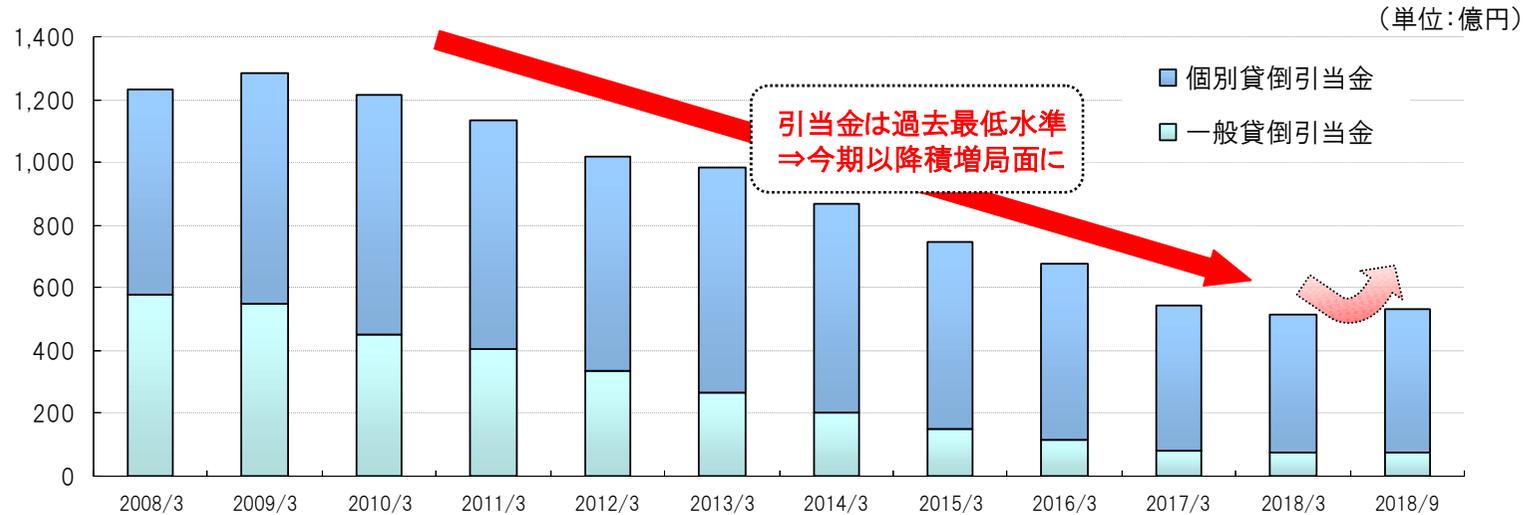
不良債権の状況(グループ内銀行合算)

●金融再生法開示債権残高は年次減少、2018年9月期の同比率は1.22%と最低水準を更新。

金融再生法開示債権残高
(3行合算)



貸倒引当金の状況



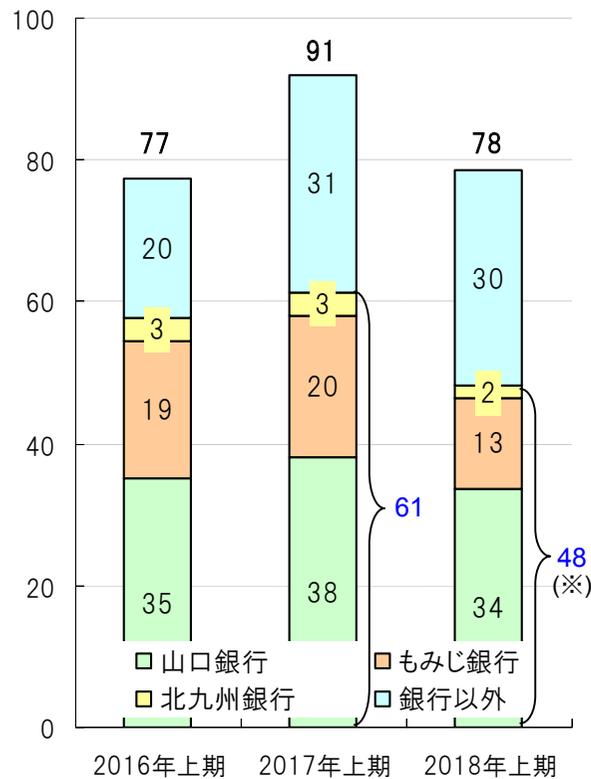
Yamaguchi Financial Group

役務関連収益の状況

● 投信・保険・証券手数料が減少したことから、FG連結役務収益は前期比▲13億円の78億円。

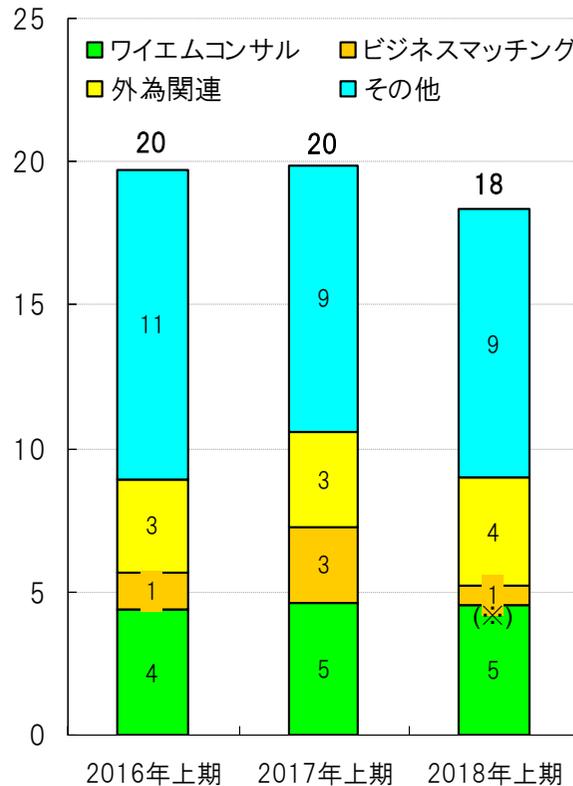
(単位:億円)

【役務収益(FG連結)】



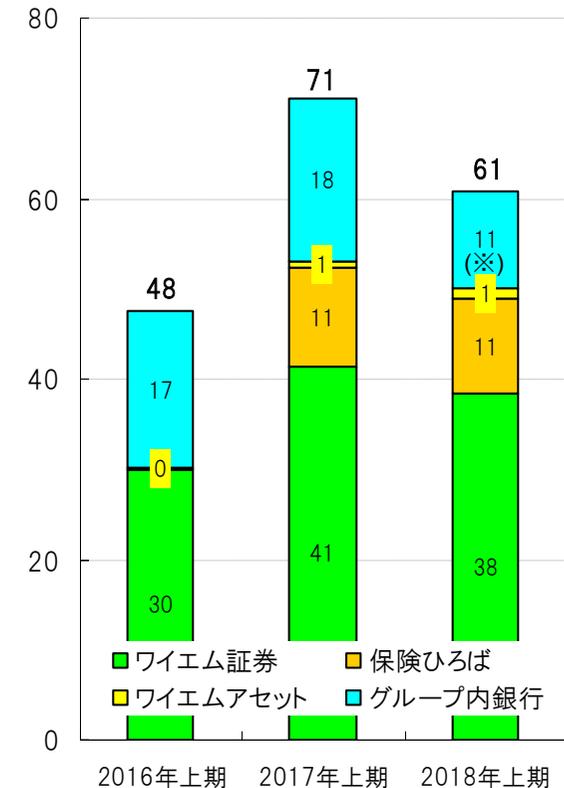
※3行合算(証券仲介手数料込)
⇒3行合算48億円(前年比▲13億円)

【法人部門 役務関連収益】



※ビジネスマッチング手数料が減少
⇒3行合算1億円(前年比▲2億円)

【個人部門 役務関連収益】



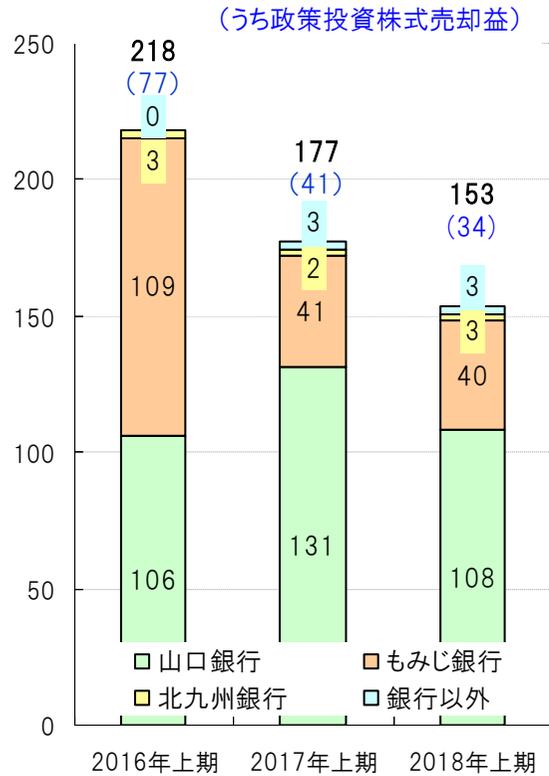
※投信・保険販売手数料が減少
⇒3行合算9億円(前年比▲7億円)

有価証券の状況

● 政策投資株式売却益を活用して、ポートフォリオ良化を図ったため、有価証券収益は前年比23億円減少。

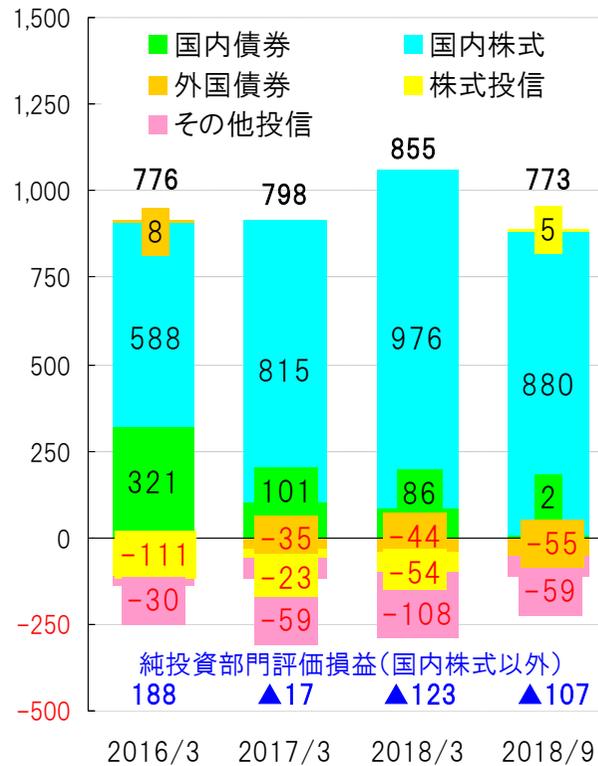
(単位:億円)

【有価証券関連収益】



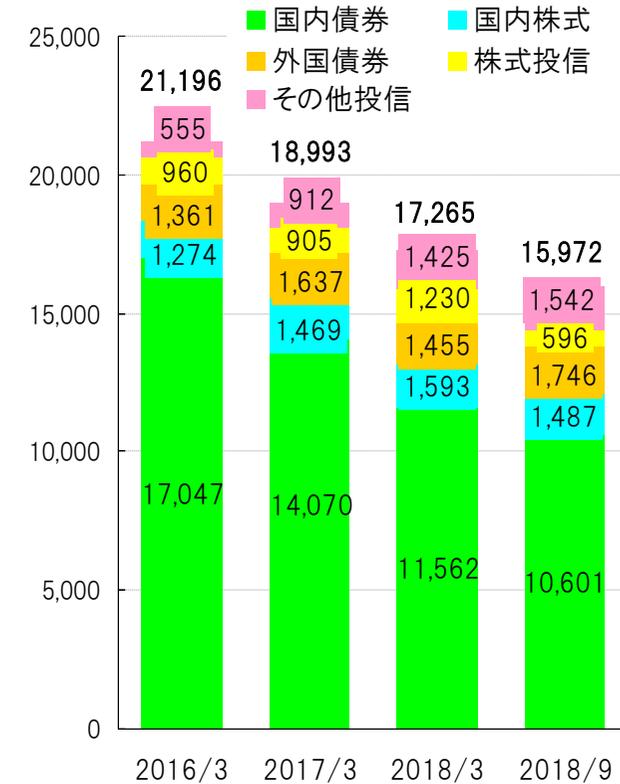
今年度の政策投資株式売却益は
含み損資産圧縮に充当

【有価証券評価損益】



含み損資産圧縮によるロスカット実施
⇒ 実現損▲73億円(前年比▲41億円)

【有価証券時価残高】

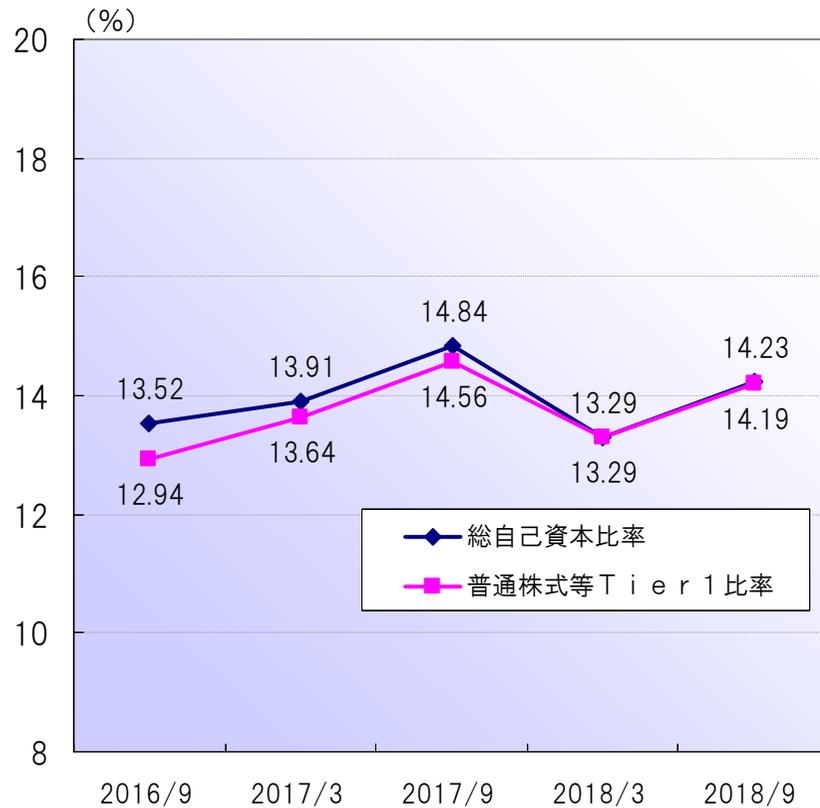


【株式投信】期末にかけて利益確定
⇒ 2018年3月比▲634億円

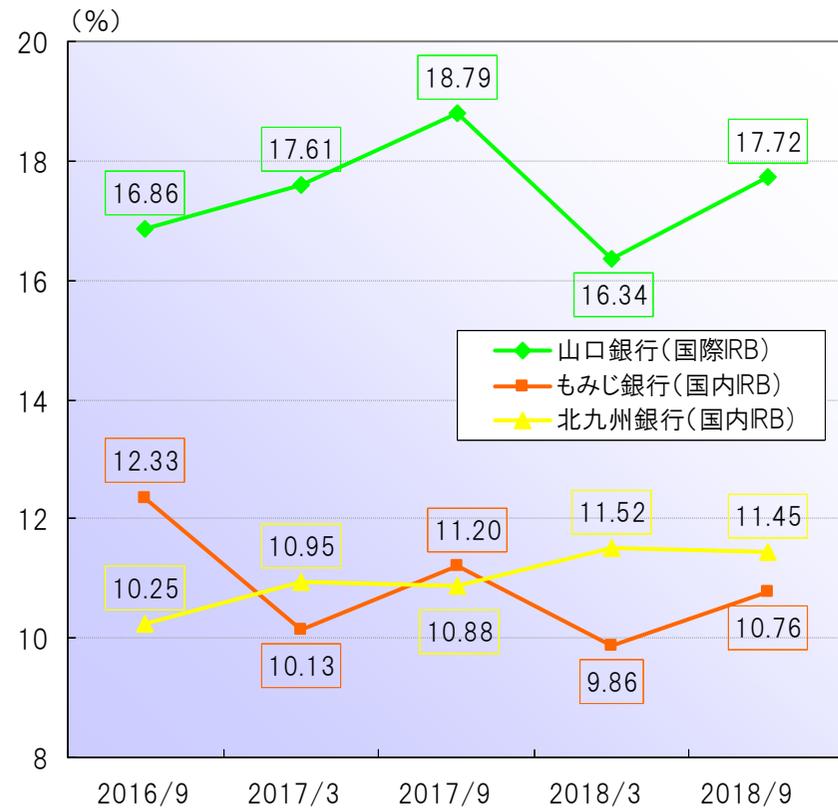
自己資本比率(FG連結・銀行単体)

- 山口FGの連結総自己資本比率、2018年9月末 14.23%(2018/3比+0.94%)。
- 山口銀行・もみじ銀行が保有する投資信託が減少したことから、リスク・アセットが減少。

山口フィナンシャルグループ連結



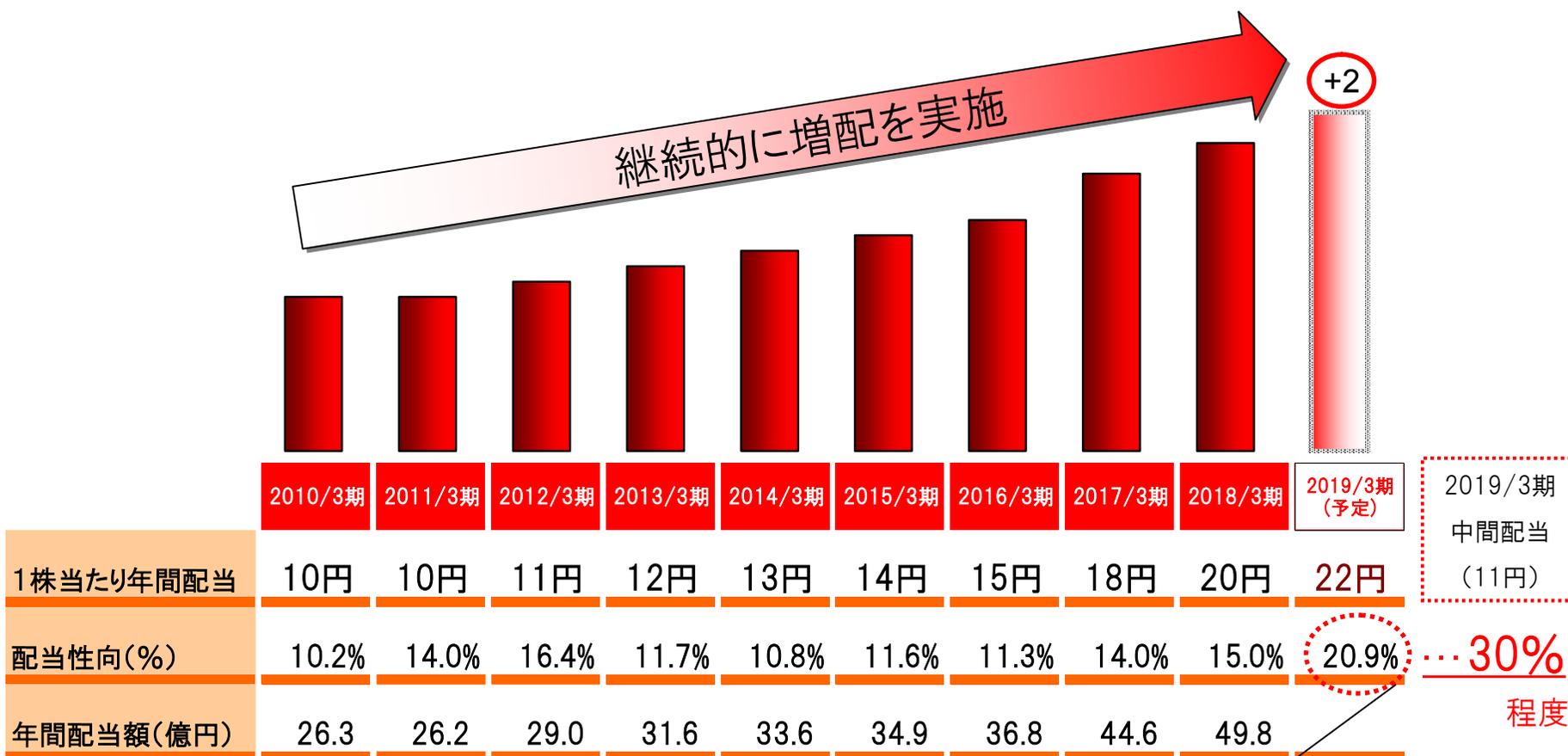
グループ内銀行の自己資本比率



※北九州銀行は2016/9までは国内SA基準

配当

- FG設立以来、継続的に増配を実施し、2019年3月期は2円増配を予定する(8期連続増配)。
- 今後は、配当性向30%程度まで引き上げることを目指す。



通期業績予想(FG連結・銀行単体)

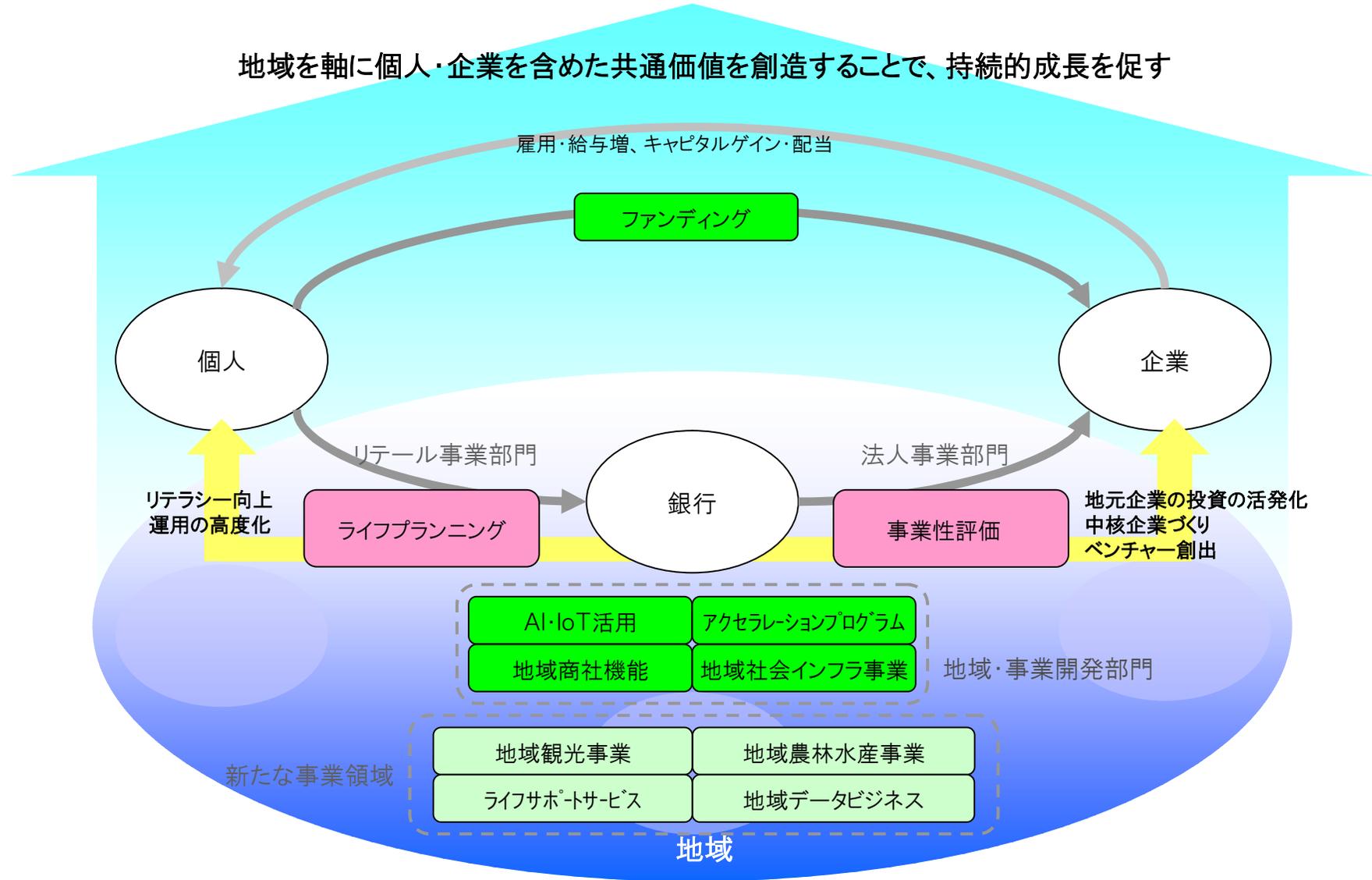
●通期決算については、期初の計画とおり、経常利益390億円、当期純利益260億円を見込む。

(億円)	FG連結			山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
		前年同期比	期初計画比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
経常収益	1,560	▲ 52	0	780	▲ 45	420	▲ 26	140	▲ 8
コア業務粗利益	1,030	▲ 60	0	516	▲ 3	292	▲ 48	116	▲ 1
資金利益	880	▲ 27	+20	506	+12	264	▲ 46	110	+2
うち預貸金利益	708	+13	+11	378	+11	222	▲ 3	108	+3
役務取引等利益	180	▲ 4	▲ 20	76	+0	30	▲ 5	5	▲ 2
経費(△)(臨時処理分除く)	715	+9	0	284	+1	211	+0	78	▲ 3
コア業務純益	315	▲ 70	0	232	▲ 5	81	▲ 48	38	+2
経常利益	390	▲ 88	0	265	▲ 62	105	▲ 15	40	▲ 7
親会社株主に帰属する当期純利益	260	▲ 69	0	195	▲ 45	80	▲ 11	30	▲ 4
与信関係費用(△)	46	+35	+11	41	+34	5	▲ 3	0	+4
経費(△)(臨時処理分含む)	718	▲ 7	0	284	▲ 11	212	▲ 4	79	▲ 3
有価証券関連収益	280	▲ 37	+20	194	▲ 29	74	▲ 7	5	▲ 3
貸出金平残	72,514	+3,452	+421	38,861	+1,950	22,274	+792	11,379	+710
貸出金利回り(%)	1.07%	▲0.01%	+0.02%	1.10%	+0.02%	1.05%	▲0.06%	1.00%	▲0.04%

今後の事業戦略について

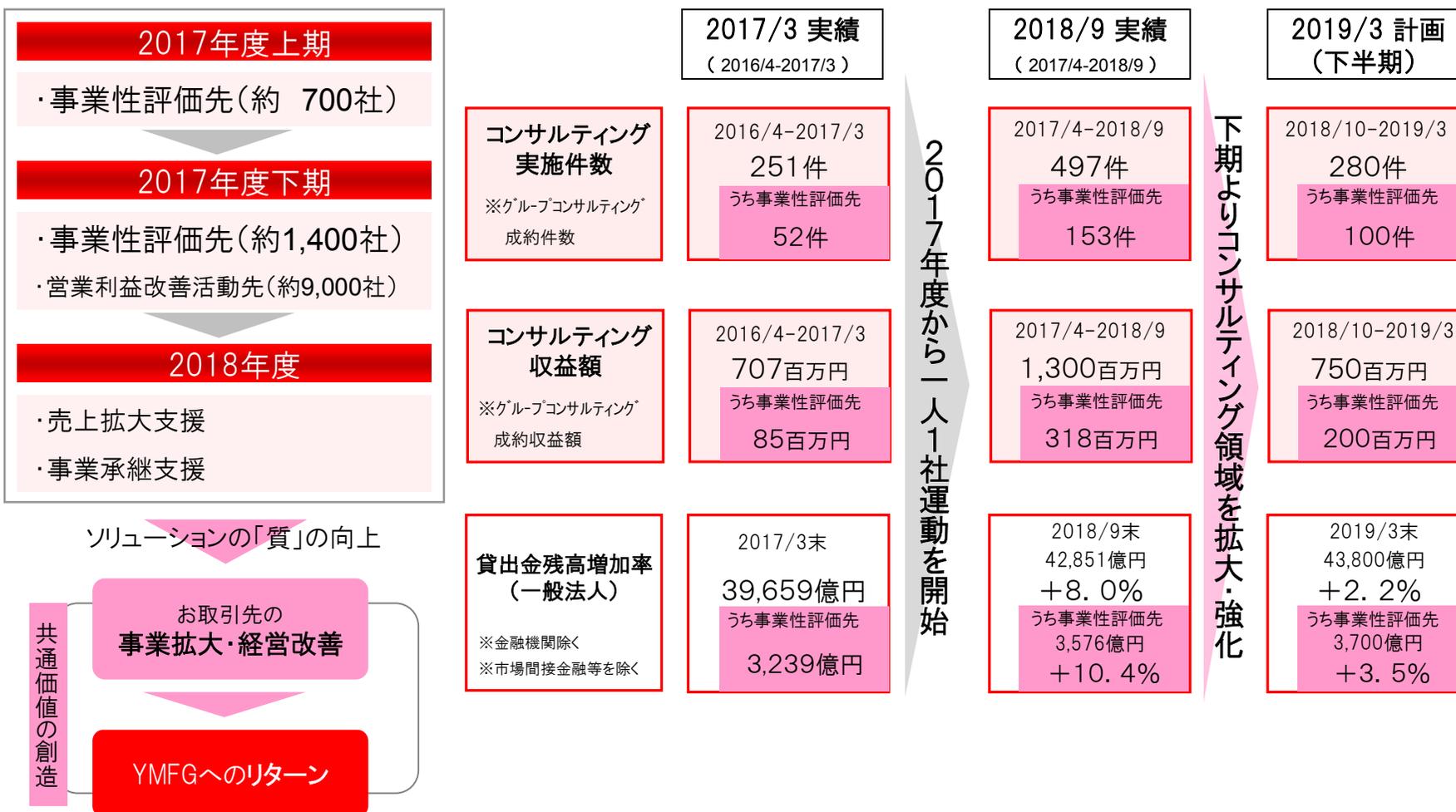
地域との共通価値創造

地域を軸に個人・企業を含めた共通価値を創造することで、持続的成長を促す



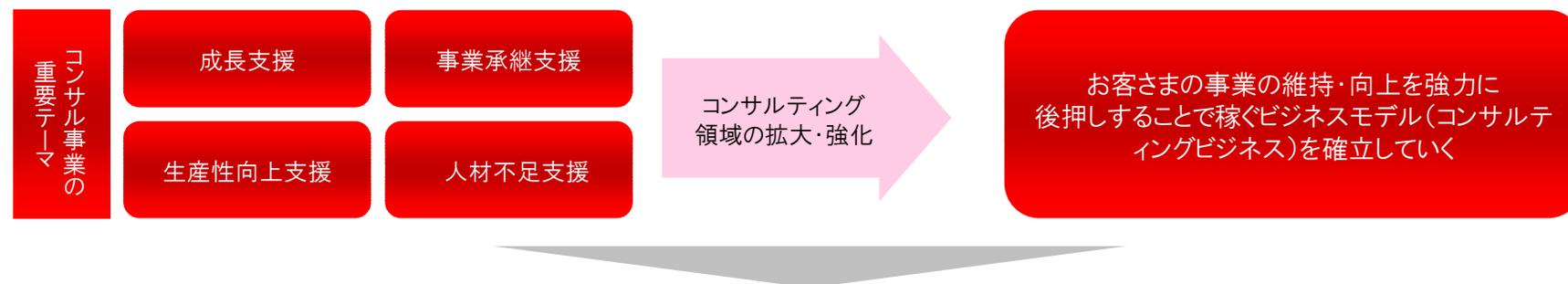
法人事業部門

- 2017年度から一人1社運動を展開、事業性評価の徹底によりお取引先との共通価値の創造を図る。
- 更なるソリューションの質の向上を図るため、コンサルティング領域の拡大・強化を図る。



法人事業部門

●コンサルティング領域の拡大・強化を通じて、地域企業の事業成長と当社の事業拡大を加速させる。



コンサルティング事業の拡大・強化

売上拡大支援	<ul style="list-style-type: none"> ・専門チームをグループ銀行内に組成。2018年上期に売上拡大ニーズが高い地域企業450社を選定してコンサルティング活動を試行。 ・毎月定額のアドバイザリーフィーや、販路拡大の成功報酬でマネタイズするビジネスモデルを確立していく。
事業承継支援	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ銀行全店で中小企業等の事業承継ニーズ調査を実施。事業承継計画策定・実行支援サービスや、大手プラットフォームと提携したM&Aサービスを提供する。
海外ビジネス支援	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスボーダーM&A、現地法人設立、販路・調達先拡大支援等を行う。海外現法へのファイナンス、スタンドバイL/C、有償ビジネスマッチングを提供する。
人材紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生に関する中核人材仲介支援を行うTSUNAGUプロジェクトを始動。
コスト削減支援	<ul style="list-style-type: none"> ・外部専門会社とのアライアンスにより、地域企業の生産性向上を支援する。
ビジネスマッチングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ銀行における専用システム構築により、取引先企業間のアライアンスを加速させる。

Yamaguchi Financial Group

リテール事業部門

- ライフプランニングを起点としたコンサルティングへ行動プロセスを改革。
- 今後は、長期伴走型モデルを開始し、真の顧客本位のFPサービスを提供することで質を磨いていく。

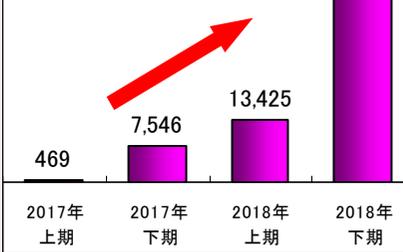
2017年度より、ライフプランニングを起点とした行動プロセスを徹底

LPS起点のコンサルティングに転換

LPS(ライフプランシミュレーション)を入口とするコンサルティングの定着を図っている。

(2018/上期)成約率: 53%
(//)クロスセル率: 2.9商品
(YMLPでの実績)

【LPS実施件数】

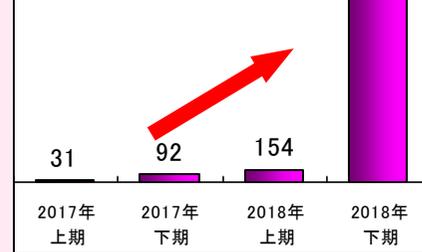


LP自体を啓発する取組み

ライフプランニングそのものの重要性を啓発する取組みとして関連セミナー開催を増加。

引き続き多様な切り口のセミナーを資産形成層中心に実施。

【セミナー実施件数】



コンサルティングの質を高める活動へ

ライフプランデータの蓄積

長期伴走型モデル (ワイエムライフプランニング)

- ・2018年度下期に20名体制でスタート。
- ・順次事業規模を拡大し、グループのリテールビジネスの支柱にする。

ゴールベース 資産管理

・ゴールベース資産管理サービスを提供し、お客さまと長期伴走する関係を構築する。

情報活用ビジネス

・次世代LPSシステムを導入し、ライフプランニングから得られる情報を情報活用ビジネスに活用。

FPプロフェッショナル人材の育成

・YMFG全体のFP人材育成センターへ

有償FP コンサルティング

・商品販売型から顧客代理型のビジネスモデルへ

データの活用

ライフプランデータの収集をさらに強化

【セミナー等で引き続き顧客接点を増加↑】

LPS実施データを蓄積

より多くのデータを収集し、顧客ニーズや趣向等をデータベース化し、多様な提案を最適なタイミングで実施していく。

地域活性化に向けた取組み

●長期的な視点で様々な地域振興・事業開発に関する取組みを実施。

官民連携の推進・支援

PPP/PFI、地方創生SDGs

PPP/PFI官民連携プラットフォーム

- ・山口県全自治体、広島県10市町、北九州11市町が参画。
- ・セミナー、官民対話を柱に案件創出につなげる。

- 9月：学校空調設備PFI事業セミナー
- 11月：下関北九州道路PPPセミナー

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム

- ・内閣府設立のプラットフォームへ参画。
- ・持続可能な経済社会づくりに向けた官民連携を推進する。



「TSUNAGUプロジェクト」

中核人材、副業・兼業人材確保スキームの構築

【目的】 首都圏⇄地方の人材還流の促進と地域中小企業の成長を加速化させる中核人材確保スキームの構築。

【特徴】

事業性評価を起点としたコンサルティングで、労働人材ではなく、会社の持続的成長に寄与する中核人材(経営サポート人材・専門人材)の還流促進。

【実績(2018年11月20日時点)】

- ・中核人材仲介求人化件数：9件、うち成約件数：1社
- ・副業仲介掲載社数：41社、うち成約件数：5社

イノベーション創出施設運営を行政より受託

「うべスタートアップ」開設

【機能】

・2018年7月22日にオープン。広域金融グループとしてのネットワークと創業支援に係るノウハウの活用に加え、産・学・公・金が協働・共創し、地域経済が抱える様々な課題の解決を図る。

【業務内容】

- ・起業マインドの醸成、起業家等の交流促進
- ・起業創業、経営改善等に関するワンストップ窓口
- ・うべスタ・コワーキングスペースの運営



[平成30年11月来場者1,000人達成]

知的財産活用支援

地域企業の知的財産の活用を推進

【主な取組み】(2016年度～)

- ・知的財産の活用指導(セミナー等)
- ・知的財産の活用仲介(マッチングフェア等)
- ・知的財産の活用人材育成
- ・中小企業等の支援(ワークショップ等)



2018年11月、第5回知的財産活用表彰(主催：日本弁理士会、後援：経済産業省、特許庁 他)において

「知的財産活用支援大賞」を受賞。

働き方改革の支援

ソフトバンクとの連携、WLB促進活動

ソフトバンクとの地方創生包括連携協定

・エリア内の企業等に、働き方改革に係るコンサルティング支援、RPAの導入支援、オフィスIT化推進に関するセミナーなどを実施

8月：AI・IoTビジネス・フォーラム開催

ワーク・ライフ・バランス(WLB)の普及・促進

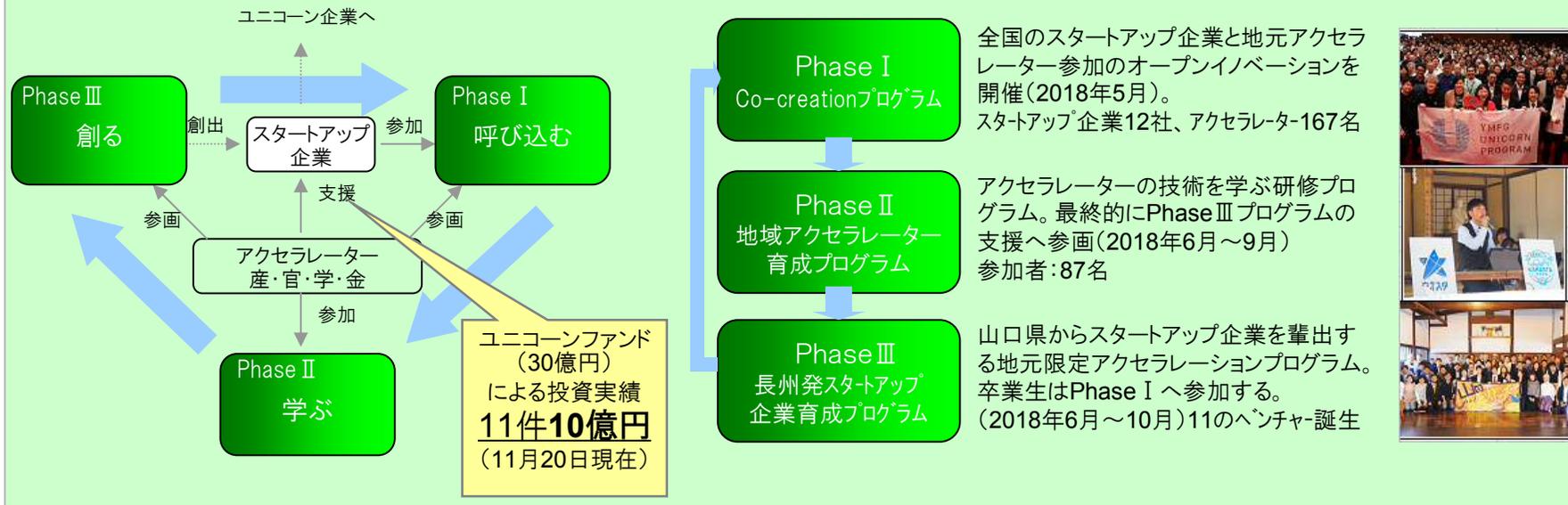
・WLB、女性活躍に係る推進員の養成、情報交換会を実施。

起業家支援の取組み

●地元からスタートアップ企業が輩出される土壌づくりを進めています。

アクセラレーションプログラム(Unicornプログラム)

Unicornプログラムの仕組み



ファンディング

ベンチャー支援・事業再生ファンド
(全7ファンド:出資総額75億円)
(うち投資実績18億円)

【ベンチャー支援ファンド】

- ユニコーンファンド
- SFCフォーラム1号ファンド
- SBI AI & Blockchainファンド
- 九州アントレプレナークラブ2号ファンド

【事業再生ファンド】

- 九州せとうちポテンシャルバリューファンド
- ネクスト・キャピタル・パートナーズ第3号ファンド
- Elixir(エリクサー)ファンド

地域産品・資源のブランディング

- 地域に埋もれている産品・資源を掘り起こし、ブランディングすることで付加価値を高める。

地域商社機能

地域商社やまぐち株式会社

2017年10月、地方創生の一助になるべく、山口県産品を首都圏をはじめ大都市圏に販売し、地元生産者を支援する目的として、山口県と共同構想のもと、山口FGを中心として設立。

付加価値の高い商品開発

・地域産品の中から原材料やストーリー性など「やまぐちを感じる逸品」を自社オリジナルブランドの「やまぐち三ツ星セレクション(現在13社26アイテム)」として販売。

※2018年上期売上高:18百万円



首都圏等への販路拡大

・東京にて自社主催の初のバイヤー向け商談会を開催。
・その他商談会や催事を通じたPRで高級スーパーや百貨店ギフトにも一部採用。

地域流通を活用した取組み

山口地元企業の新鮮な採り立て野菜等を地元バス会社の高速路線バス(貨客混載)で輸送し、広島で販売。

地域情報WEBサイト



(株)データ・キュービック
2018年6月、山口FGが保有する情報を活用し、地域企業の成長促進や、地域内資源の情報発信を効果的に行うことにより、地域経済の活性化に貢献することを目的に設立。

地域情報WEBサイト『ここいろ』の開設



開発した商品は「やまぐちを感じる逸品」として“ここいろ”でも紹介しています。



データ・キュービックのメディア事業として、地域の魅力ある方々・モノ・スポット等を紹介するWEBサイト。

新たな事業領域の拡大

●新たな事業領域にも参入し、地域を面で浮上させる取組みを実施していく。

地域観光事業(ツーリズム)

背景:人口減少、産業衰退

提供価値:(地)交流人口増、観光資源発掘・経済活性化
(企)観光産業を中心とした収入増

ツーリズムプロデュース(YMFG)

コンテンツ 発掘・企画	プロモーション	アライアンス 民泊・交通 事業者	収益化 旅行者等 と連携した商 品化
----------------	---------	------------------------	-----------------------------

地域に対するデータビジネスの展開

背景:生産年齢人口の減少、域内産業の衰退、高齢化進展

提供価値:地域の稼ぐ力の向上、住民の生活利便性の提供
⇒地域経済の活性化にデータ活用を通じて貢献

データ分析サービス:データ・ドリブン・マーケティングの実行支援等

AIソリューション:AI導入による業務改善・効率化支援等

AI普及促進活動:AIやデータ分析を活用した課題解決型のセミナー等

ライフサポートサービス(高齢者向け)

背景:高齢者のみ世帯増加、地場マーケット縮小

提供価値:(個)日常生活支援、資産寿命・健康寿命の延伸、
(企)地元事業者のサービス提供機会創出

【イメージ図】

地域農林水産事業

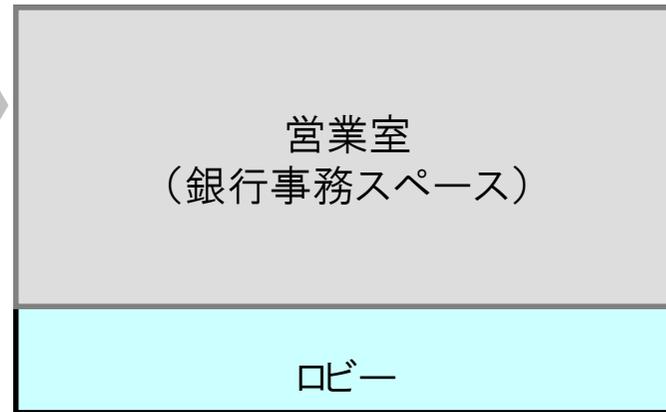
背景:高齢化・後継者不足による一次産業の衰退

提供価値:一次産業の成長産業化、景観保持

店舗(リアルチャネル)改革

●リアルチャネルは銀行事務を行う場所から地域活性化に資するサービス提供の場へ ⇨ 空間ビジネスへ

	山口銀行
	もみじ銀行
	北九州銀行
支店	243店舗
出張所	37店舗
	保険ひろば
	保険ひろば+
支店	53店舗
	YMFG 山口フィナンシャルグループ
	ワイエム証券
支店	19店舗



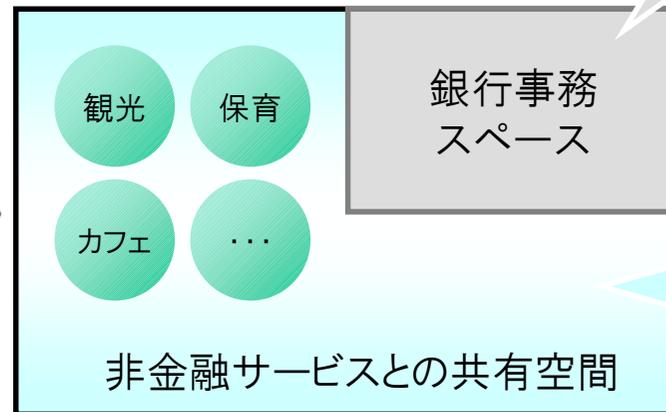
今後の方向性

事務を削減し極小化

- 窓口(一線)完結できる新営業店システム導入・後方事務の削減
⇒2018上期で3行全営業店へ導入終了
⇒2018上期で月48,000時間の事務削減
- 《今後の削減予定》
- 本部への事務集中化
⇒12月:60人、1月:270人、2月:80人
- 新ローン審査システムの採用
⇒ローン業務量の80%削減見込み

非対面
チャネルの
拡充

誘導



地域活性化の拠点へ転換

- ・銀行事務スペースの極小化により生じる空間を、地域・生活に付加価値を享受いただけるサービスに活用 (観光拠点、保育、カフェ...)
- ・グループ内企業がコンサルティングを提供する場所としても活用

テクノロジーの活用

●顧客利便性・満足度向上に向け、ITテクノロジーを積極活用。

通帳・印鑑・カードレス取引の拡充

「手ぶら取引」をATMだけでなく、窓口にも取り扱いを拡大

【お客さまのメリット】

- ・指静脈認証＋暗証番号で、通帳・印鑑・署名・カードレスにて払い出しが可能。
- ・窓口では利用限度額制限なし(支払可能残高まで可能)。
- ・3銀行の全店舗で可能。

＜2018.10.22窓口へ拡充開始＞
全CIFに対する登録割合...4%
全取引に対する利用割合...2%(ATM)



クラウド型ローン審査システムの導入

ローン取引を電子サイン、電子契約システムへ

【お客さまのメリット】

- ・印鑑レス、ペーパーレスを実現し、契約までの事務手続きを大幅に簡素化。
- ・仮審査回答のスピードアップ

【当社メリット】

- ・審査時間の短縮化、ローン業務量の80%削減を見込む。
- ・株式会社インテック社のクラウド型システムを採用し、高いセキュリティ確保と定期的なバージョンアップが可能。

スマホ取引の利便性向上

「スマホde通帳！口座」

- ・スマホアプリで、通帳内容が確認できるサービス(6/25開始)。
- ・IB契約は不要(無料)。
- ・現在の登録件数約13,000件(2018年11月時点)



「マネーフォワードfor YMFG」のAPI接続対応

- ・IB契約無しで自動家計簿ソフトが利用可能



キャッシュレス社会への対応

北九州市のキャッシュレス構想の実証実験に参加

- ・2018.9～12(予定)
- ・北九州市内のJR駅、商業施設の飲食店等で実施
- ・アプリpringを活用
- ・北九州BK口座保有者へ積極的に利用を啓蒙

Alipay、WeChat Payの取次ぎ開始

- ・当社主要エリアは中国に近く、インバウンド需要取り込みが目的。
- ・株式会社ネットスターズ社の「StarPay」アプリを活用した取次ぎサービスを開始。
- ・今後はLINE Payのチャージ対応開始

Yamaguchi Financial Group

政策投資株式への対応

●コーポレート・ガバナンスコード改定を受け、政策投資株式への対応方針を変更。

政策保有に関する方針(コーポレート・ガバナンスコード原則1-4)

【新規に保有する政策投資株式】

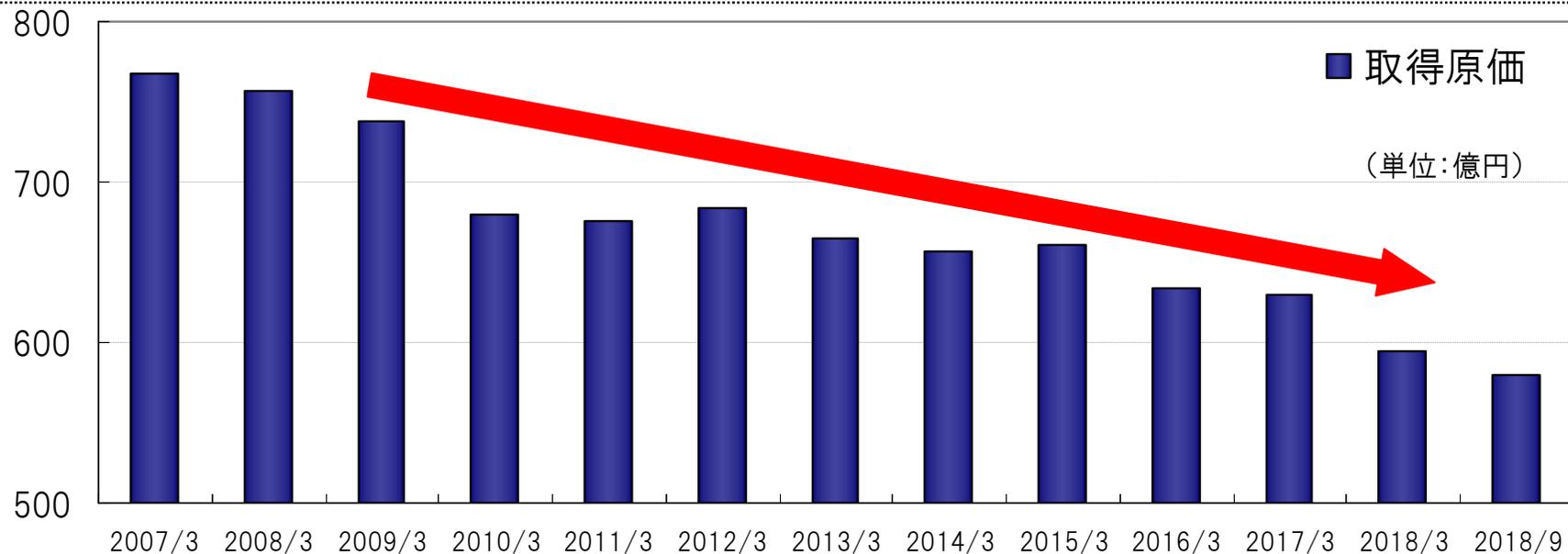
・政策投資株式は、**保有目的の適切性、保有に伴う便益やリスクが当社の資本コストに見合うか否かといった観点**から保有の適否を判断し、保有の合理性が認められる場合を除いて新規に保有しない。

【既に保有している政策投資株式】

保有する政策投資株式の保有合理性について、**保有目的の適切性、保有に伴う便益やリスクが当社の資本コストに見合うか否かといった観点**から保有の適否を定期的に検証し、当該株式に**保有合理性が認められなくなった場合には縮減**する。

⇒政策投資先の総合取引RORA(※)が当社の資本コスト(6%台後半)に見合う水準を上回る場合のみ保有する。

(※)総合取引RORA=(配当金+預貸金収益+役務収益)/信用リスクアセット



参考資料編

YMFG中期経営計画(2016～2018)の位置づけ

現状認識

<内部環境>

- ・預貸金収支の縮小
(収益構造として有価証券割合増)

<外部環境>

- ・人口減少、少子高齢化の進展
- ・貯蓄から投資の流れ
- ・相続、資産承継ニーズ増加

<組織>

- ・柔軟性、スピード感の重要性が増している

<人材>

- ・コンサルティング人材の不足
- ・専門人材の戦略的配置が不十分

YMFG中期経営計画

目指すべき姿

○地域を育み、ともに成長する金融グループ

～Road to “YMFG ZONE”～

○圧倒的な品質でお客様の期待を超える金融グループ

～Amazing “YMFG Quality”～

基本目標

Change the way, Refine the quality, Design the future.

(やり方を変えよう、質に磨きをかけよう、そして未来をデザインしよう)

○金利競争からの脱却

○プロダクト・アウトからの脱却

行動指針

コンサルティング・ファースト

～全てのお客様に対し、まずコンサルティングから入る。
(コンサルティング・ファースト)を徹底する。

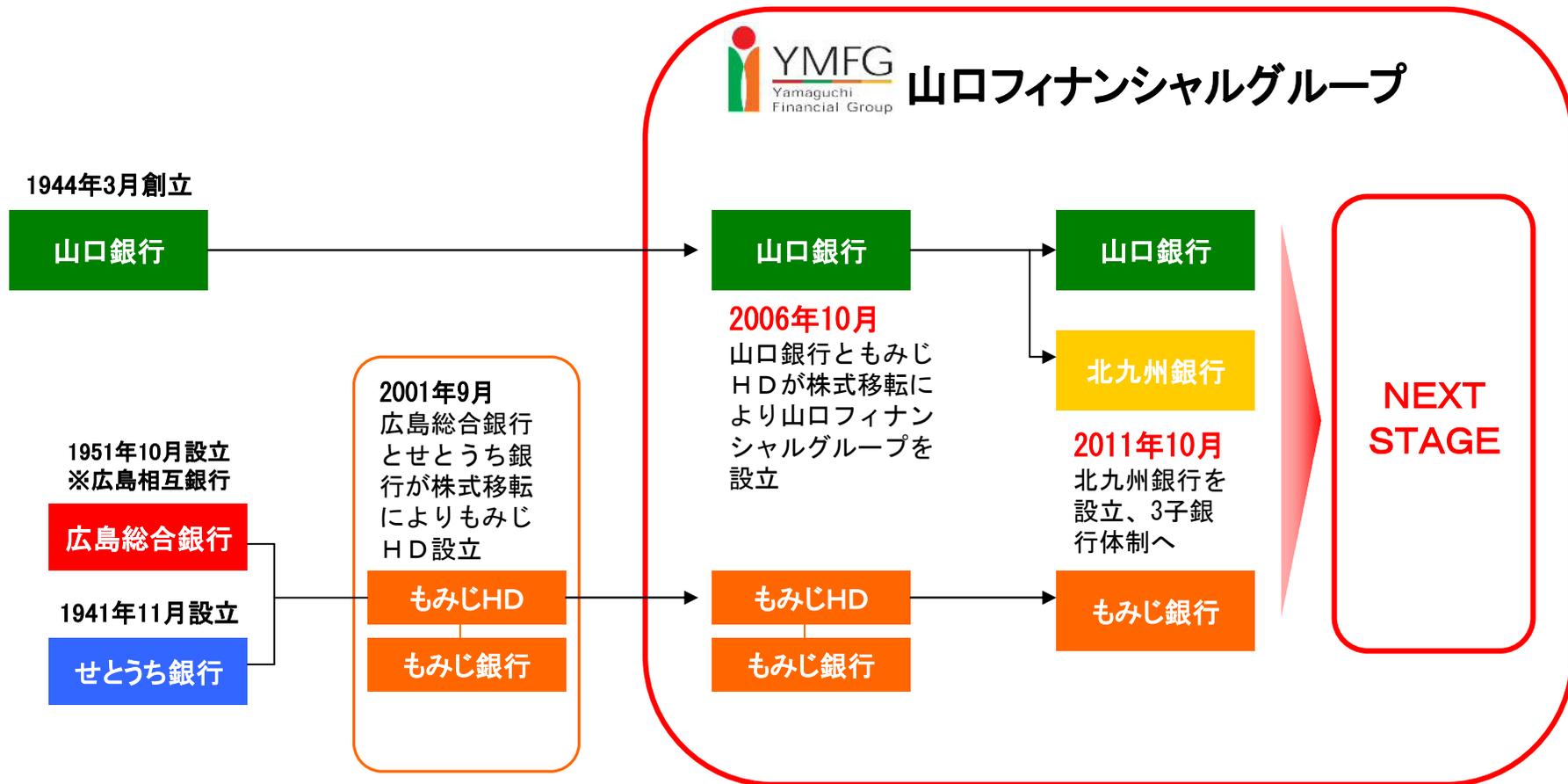
・市場環境に左右されにくい持続可能な成長モデルの確立

・地域の金融グループとして、地域の成長にコミットし地方創生に主導的役割

・高いコンサルティング意識と専門性を持った人材の育成と適切配置

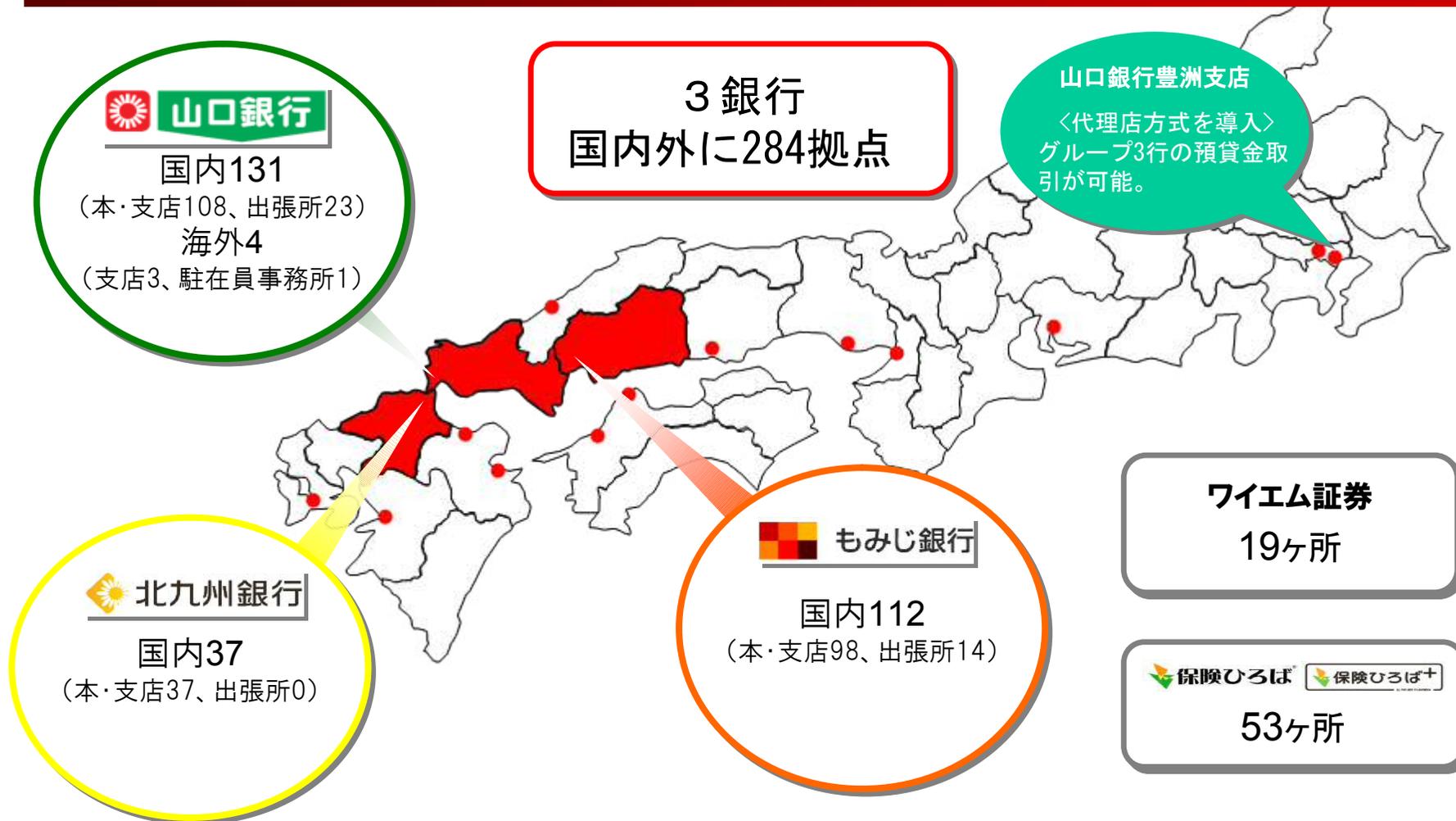
山口フィナンシャルグループの沿革

- 2006年10月に、山口フィナンシャルグループ設立（山口銀行・もみじHDが共同株式移転）
- 2011年10月に、北九州銀行設立（山口銀行の九州域内における事業を吸収分割方式にて承継）



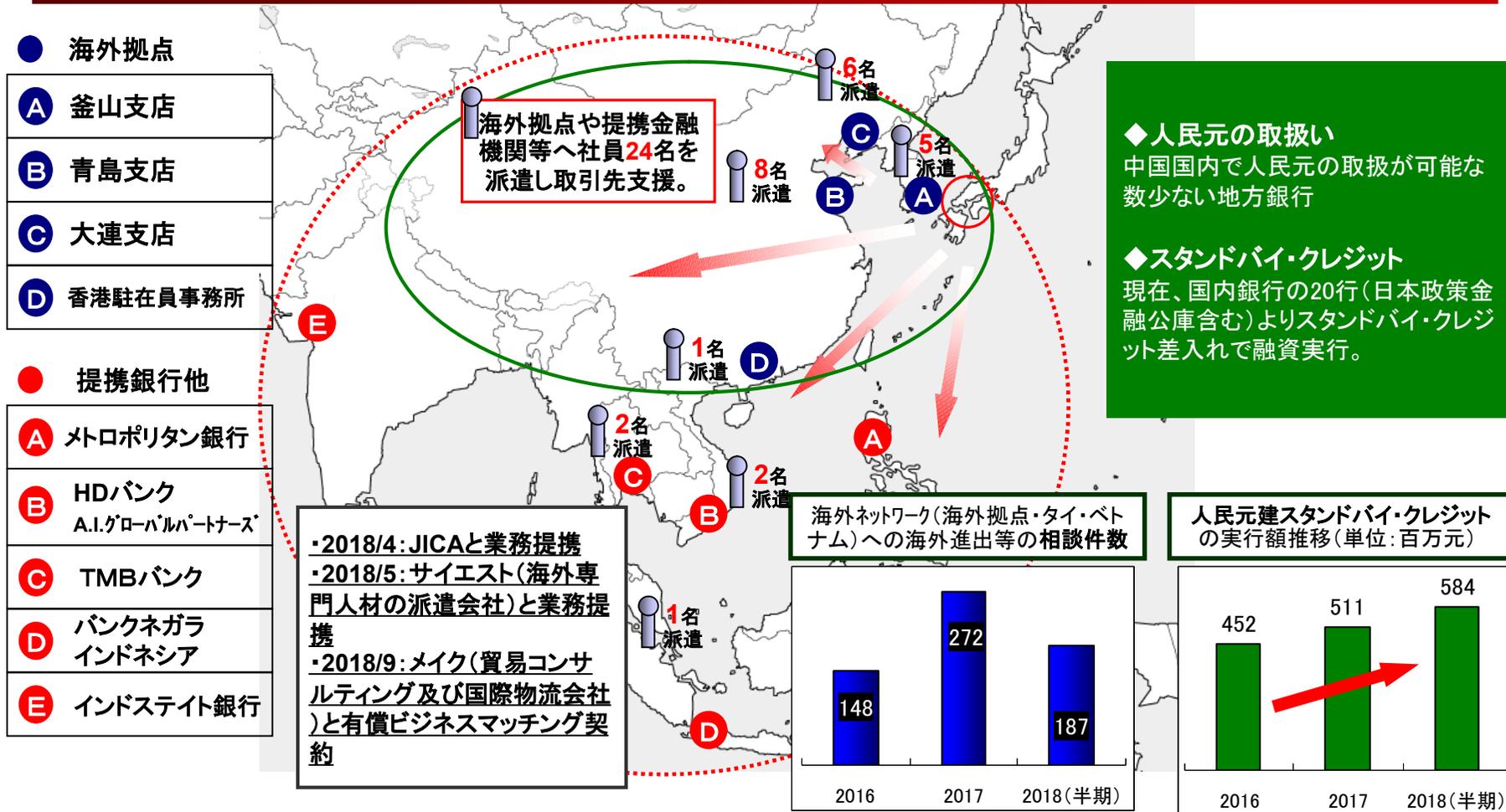
国内店舗チャンネル

- グループ3銀行で国内280拠点、海外4拠点(2018年9月末現在)
- その他、ワイエム証券19拠点、保険ひろば(+含む)53拠点

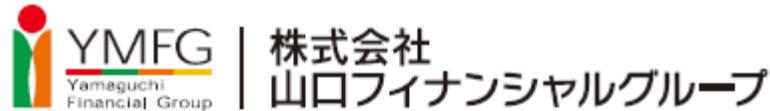


アジアYMFGネットワーク

- 1973年韓国釜山へ邦銀初の出店(以降、中国大連・青島へも出店)⇒アジア出店の長い歴史(40余年)
- 中国国内で人民元の取扱いが可能な数少ない地方銀行(スタンドバイ・クレジット対応に他行優位性)
- アジアの外銀との提携戦略により、取引先のアジア進出のサポートを実践



YMFGグループおよび事業セグメント



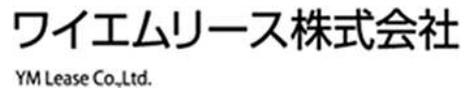
証券



保険



リース



コンサル



カード



資産運用



シンクタンク

北九州経済研究所
山口経済研究所

不動産管理

三友
もみじ地所

カード業

やまぎんカード
もみじカード

保証業務

ワイエム保証

データ

データキュービック



Yamaguchi Financial Group

2018年度中間決算の概要(山口銀行)

(億円)

		2017/9期	2018/9期	前年同期比
経常収益	1	422	452	30
業務粗利益	2	285	259	▲ 26
資金利益	3	252	265	12
役務取引等利益	4	38	33	▲ 4
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	▲ 5 (21)	▲ 39 (▲ 5)	▲ 34 (▲ 27)
経費(除く臨時処理分)(△)	6	138	143	4
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	▲ 0	▲ 0
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	147	116	▲ 31
コア業務純益	9	125	121	▲ 3
臨時損益	10	40	26	▲ 13
うち株式等関係損益	11	49	41	▲ 8
うち不良債権処理額(△)	12	0	17	17
うち貸倒引当金戻入益	13	1	-	▲ 1
うち償却債権取立益	14	0	0	0
経常利益	15	187	142	▲ 45
特別損益	16	3	▲ 0	▲ 4
税引前中間純利益	17	191	142	▲ 49
中間純利益	18	137	105	▲ 32
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 1	17	18

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

- ・経常利益は資金利益が+12億円も、国債等債券損益が▲27億円、与信費用が+18億円等を主因として、前年同期比▲45億円の142億円。
- ・中間純利益は前年同期比▲32億円の105億円。

資金利益

単位:億円

山口銀行	2018/9	前年同期比
資金利益	265	12
預貸金収支	189	5
貸出金利息	213	14
預金利息	23	8
有価証券利息	76	3
投信解約益	33	4
その他	▲ 1	2

2018年度中間決算の概要(もみじ銀行)

(億円)

		2017/9期	2018/9期	前年同期比
経常収益	1	224	209	▲ 14
業務粗利益	2	171	152	▲ 18
資金利益	3	156	143	▲ 12
役務取引等利益	4	19	12	▲ 7
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	▲ 5 (▲ 0)	▲ 3 (▲ 1)	1 (▲ 1)
経費(除く臨時処理分)(△)	6	107	108	0
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	3	3
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	63	44	▲ 18
コア業務純益	9	64	46	▲ 17
臨時損益	10	0	4	4
うち株式等関係損益	11	4	9	5
うち不良債権処理額(△)	12	0	▲ 0	▲ 1
うち貸倒引当金戻入益	13	5	-	▲ 5
うち償却債権取立益	14	0	0	▲ 0
経常利益	15	63	46	▲ 17
特別損益	16	1	▲ 0	▲ 1
税引前中間純利益	17	65	46	▲ 18
中間純利益	18	47	35	▲ 11
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 5	2	7

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

- ・**経常利益**は有価証券利息配当金の減少や役務取引等利益の減少等を主因として、前年同期比▲17億円の46億円。
- ・**中間純利益**は前年同期比▲11億円の35億円。

資金利益

単位:億円

もみじ銀行	2018/9	前年同期比
資金利益	143	▲ 12
預貸金収支	111	▲ 1
貸出金利息	116	▲ 1
預金利息	5	▲ 0
有価証券利息	36	▲ 10
投信解約益	15	▲ 8
その他	▲ 4	▲ 1

2018年度中間決算の概要(北九州銀行)

(億円)

		2017/9期	2018/9期	前年同期比
経常収益	1	72	71	▲ 1
業務粗利益	2	57	57	▲ 0
資金利益	3	53	55	1
役務取引等利益	4	3	1	▲ 1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	5	0 (▲0)	0 (-)	▲0 (0)
経費(除く臨時処理分)(△)	6	40	38	▲ 1
一般貸倒引当金繰入額(△)	7	-	-	-
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8	17	18	1
コア業務純益	9	17	18	1
臨時損益	10	4	2	▲ 2
うち株式等関係損益	11	0	▲ 0	▲ 0
うち不良債権処理額(△)	12	0	0	0
うち貸倒引当金戻入益	13	3	1	▲ 1
うち償却債権取立益	14	-	-	-
経常利益	15	22	21	▲ 1
特別損益	16	▲ 0	▲ 0	0
税引前中間純利益	17	22	21	▲ 1
中間純利益	18	16	15	▲ 0
与信関係費用(7+12-13-14)(△)	19	▲ 3	▲ 1	2

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

決算概要

- ・**経常利益**は貸出金利息が増加し、経費が減少したものの、貸倒引当金戻入益の減少等により、前年同期比▲1億円の21億円。
- ・**中間純利益**は、前年同期比▲0億円の15億円。

資金利益

単位:億円

北九州銀行	2018/9	前年同期比
資金利益	55	1
預貸金収支	54	2
貸出金利息	56	1
預金利息	2	▲ 0
有価証券利息	2	0
投信解約益	-	-
その他	▲ 1	▲ 0

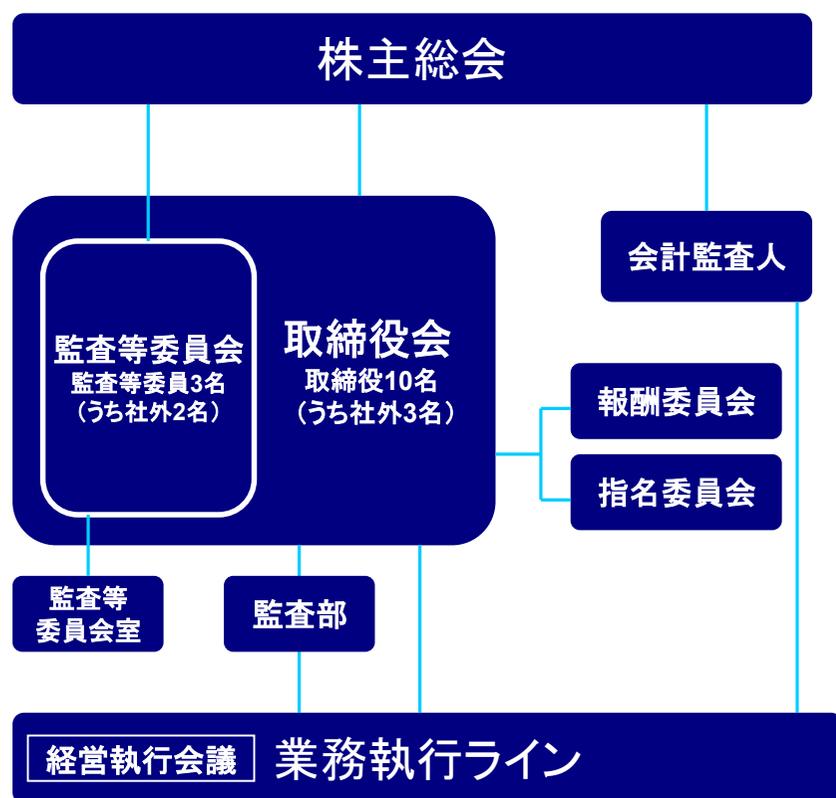
金融仲介機能の発揮に向けたベンチマーク(実績)

		2017年度		2018年度 (中間期)
共通	事業性評価融資先数と融資額	先数 5,649先 融資額11,609億円	▶	先数5,977先 融資額12,152億円
	銀行が関与した創業・第二創業の件数(累計)	1,936先	▶	2,399先
選択	メイン取引先数 (うち、融資残高30百万円以上の先)	13,294先 (9,685先)	▶	13,006先 (9,923先)
	事業性評価、生産性向上に資する対話先数(累計)	13,703先	▶	14,618先
	メイン先のうち経営改善提案を行っている先(累計)	3,452先	▶	3,843先
	本業支援に関する 研修数・参加者数・資格取得者数	研修数5、参加者数1,036名 資格取得者数149名	▶	研修数2、参加者数15名 資格取得者数56名
	本業支援に関連する 中小企業支援策の活用を支援した先数(累計)	816先	▶	1,231先
独自	広域営業地盤・海外拠点・グループを活用した ソリューション提案件数 (累計)	1,935先	▶	2,143先

ガバナンス体制およびIR活動

●あらゆるステークホルダーを重視し、ガバナンス強化およびIR活動を実践しています。

コーポレートガバナンス体制



国内外におけるIR活動の実践

国内機関投資家様向けIR活動

- 年2回のラージプレゼンテーション
- ワンオンワンミーティング（年間数十社）
- 個別投資家様からのヒアリング・ミーティング

個人投資家様向けIR

- 東京にて2016年9月、2017年9月に実施

海外機関投資家様向けIR活動

時期	場所
AUG.2013	Singapore
SEP.2014	London,Edinbrgh,Geneba,Zurich
SEP.2015	Tokyo
NOV.2015	London,Edinbrgh
SEP.2016	Tokyo
FEB.2018	NewYork
JUL.2018	London

…引き続き海外および国内における海外機関投資家向けIRを検討。

債務者区分の遷移状況(2018年3月末⇒2018年9月末)

(1) 山口銀行

(億円)

			2018年 9月末					その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先		破綻先
				その他	要管理先				
2018年3月 末	正常先		29,454	28,906	295	0	0	-	250
	要注意先	その他	3,587	551	2,786	11	6	1	15
		要管理先	80	2	2	74	0	-	0
	破綻懸念先		221	-	2	0	212	2	2
	実質破綻先		59	-	-	-	0	57	0
	破綻先		56	-	-	-	-	-	54

ランクダウン 337億円

ランクアップ 559億円

(2) もみじ銀行

(億円)

			2018年 9月末					その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先		破綻先
				その他	要管理先				
2018年3月 末	正常先		13,927	13,516	272	0	5	0	0
	要注意先	その他	3,222	359	2,804	2	6	1	2
		要管理先	36	-	0	29	6	0	-
	破綻懸念先		154	-	2	0	135	1	0
	実質破綻先		54	-	-	-	-	51	1
	破綻先		49	-	-	-	-	-	48

ランクダウン 301億円

ランクアップ 362億円

(3) 北九州銀行

(億円)

			2018年 9月末					その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先		破綻先
				その他	要管理先				
2018年3月 末	正常先		7,407	6,990	355	0	-	0	-
	要注意先	その他	2,469	441	1,975	11	1	1	0
		要管理先	26	-	1	23	-	-	-
	破綻懸念先		59	-	0	-	52	2	3
	実質破綻先		25	-	-	-	-	24	0
	破綻先		22	-	-	-	-	-	22

ランクダウン 375億円

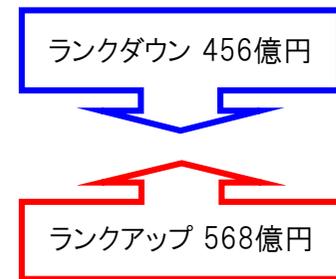
ランクアップ 442億円

Yamaguchi Financial Group

債務者区分の遷移状況(2017年9月末⇒2018年9月末)

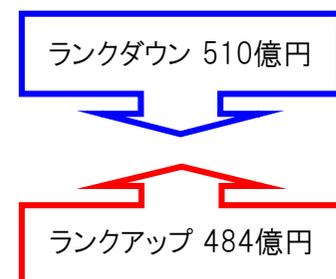
(1) 山口銀行 (億円)

			2018年 9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
2017年9月 末	正常先	28,602	27,809	382	2	0	0	-	407	
	要注意先	その他	3,306	557	2,565	11	31	3	17	119
		要管理先	85	1	4	74	4	-	-	1
	破綻懸念先	202	-	4	0	186	1	0	8	
	実質破綻先	71	-	-	-	0	57	1	11	
	破綻先	56	-	-	-	-	-	55	1	



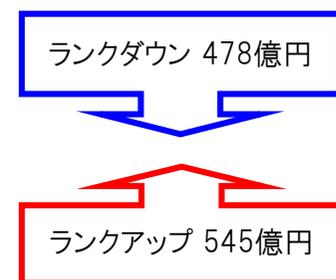
(2) もみじ銀行 (億円)

			2018年 9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
2017年9月 末	正常先	13,625	12,889	459	0	4	0	0	270	
	要注意先	その他	3,162	478	2,575	10	12	1	5	77
		要管理先	27	-	0	20	6	0	-	0
	破綻懸念先	148	-	4	1	131	5	1	5	
	実質破綻先	52	-	-	-	-	50	0	1	
	破綻先	54	-	0	-	-	-	46	7	



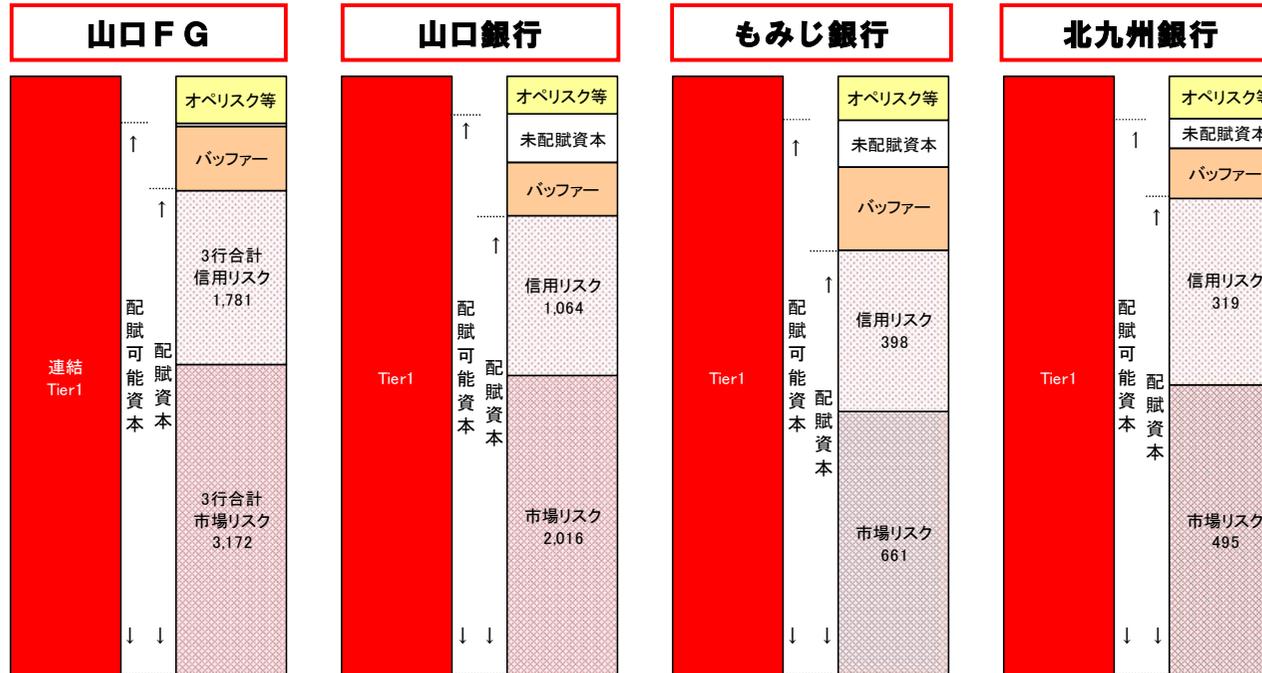
(3) 北九州銀行 (億円)

			2018年 9月末						その他	
			正常先	要注意先		破綻 懸念先	実質 破綻先	破綻先		
				その他	要管理先					
2017年9月 末	正常先	7,051	6,504	445	0	0	0	-	100	
	要注意先	その他	2,368	532	1,745	13	7	4	3	61
		要管理先	26	0	1	19	0	0	2	3
	破綻懸念先	59	-	10	-	48	0	-	0	
	実質破綻先	24	-	-	-	-	24	0	0	
	破綻先	27	-	-	-	-	-	24	2	



リスク資本配賦

(単位:億円)



		山口銀行	もみじ銀行	北九州銀行	3行合計
信用リスク	リスク量('18/9末)	568	245	179	992
	資本配賦額	1,064	398	319	1,781
	使用率	53.3%	61.5%	56.1%	
市場リスク	リスク量('18/9末)	674	138	223	1,035
	資本配賦額	2,016	661	495	3,172
	使用率	33.4%	20.8%	45.0%	

- ・FG連結Tier1を配賦原資とし、計画に沿って各行へ配賦する。
- ・Tier1：普通株式等Tier1+その他Tier1
(グループ全体を統一的に管理するために、山口FG、および各銀行とも国際統一基準に基づきTier1を算出)
- ・バッファー：想定以上の環境変化や計量できないリスクへの備え等

Yamaguchi Financial Group

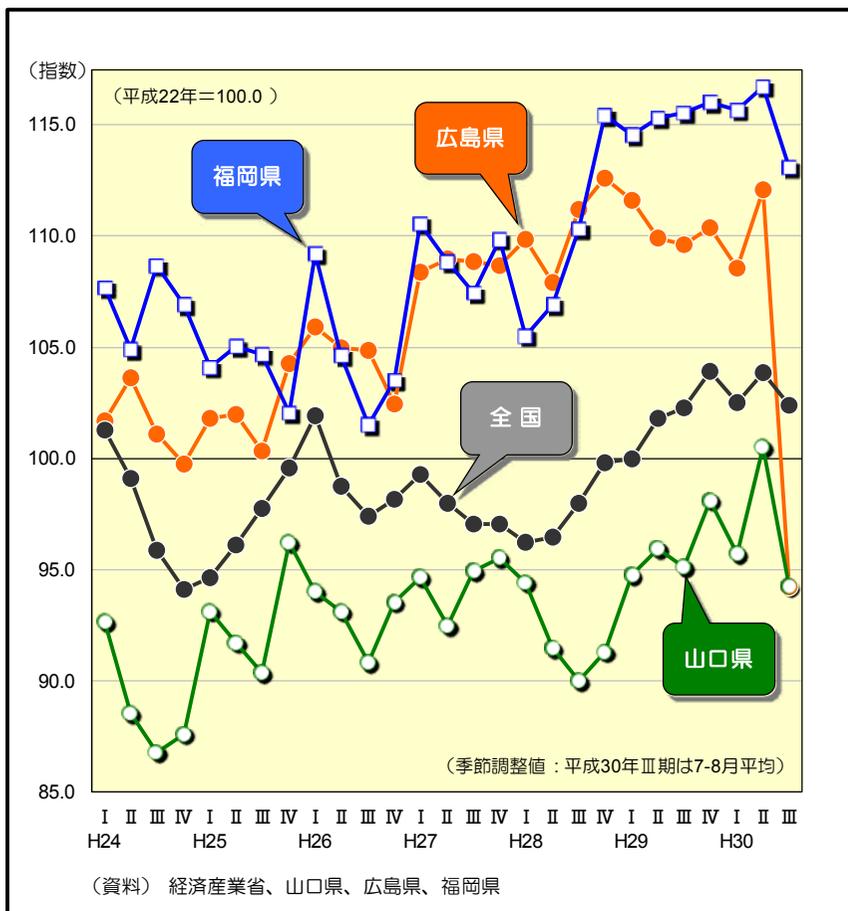
地区別経済概況

	北九州市 ～北九州地区の経済は 緩やかに拡大している～	山口県 ～景気は緩やかに回復している～	広島県 ～景気は緩やかに回復している～
生産	鉄鋼、住設機器、電気機械、電子部品、自動車が高水準で推移しているほか、化学、セメントが増加基調にあり、全体として高水準で推移している。	西日本豪雨の影響で落ち込んでいた輸送機械の生産が持ち直しているほか、化学や窯業・土石等の主要品目の稼働率が高めを維持するなど、全体で見ると堅調に推移している。	西日本豪雨の影響で自動車を中心に生産水準が大幅に落ち込んだものの、足元では自動車、鉄鋼の生産が回復基調となっているほか、造船が高操業となるなど、全体でも緩やかに増加している。
設備投資	堅調な収益動向を背景とした能力増強の動きがみられることから、製造業を中心に増加している。2018年度の設備投資額(計画)は、前年度に比べ製造業が59.1%増加、非製造業が1.6%増加し、全体では45.8%の増加となっている。	平成30年度の設備投資計画額(山口経済研究所調べ)は、大手化学メーカーや自動車メーカーを中心に大企業が主力製品の能力増強投資等を実施し、全体でも前年度比41.7%増加と3年連続で前年度を上回る計画となっている。	平成30年度の設備投資計画額(日銀広島支店調べ)は、大企業・製造業の投資額が減少するなど、全体でも前年度比0.6%減少と前年度を若干下回る計画となっている。
輸出	全体として高水準で推移している。2018年度上期の北九州港の輸出額は、前年同期比で13.9%増加した。	今年7-9月期の輸出額は前年比8.6%減少と7四半期ぶりに前年を下回った。防府港の米国向けを中心とする自動車等が増加している一方、下関港の韓国向け半導体等製造装置、徳山港の有機化合物等が減少している。	自動車や船舶の輸出が減少するなど、全体でも前年を下回る水準で推移している。
個人消費	振れを伴いながら、緩やかに持ち直している。	今年7-9月期の百貨店・スーパー販売額、乗用車新車販売台数、ドラッグストア販売額等が前年を上回るなど、全体でも底堅く推移している。	百貨店・スーパー販売額が持ち直し、コンビニエンスストア販売額、家電量販店販売額が増加するなど、全体でも持ち直しの動きとなっている。
公共工事	弱含んでいる。2018年7月～9月期の公共工事請負金額は、前年同期比で31.9%減少した。	平成30年度累計(4-9月)の公共工事請負金額は、前年比8.5%増加となった。岩国飛行場関連の大型工事が減少したことを主因に、国からの発注が若干前年割れとなったが、市町からの発注が増加している。	平成30年度累計(4-9月)の公共工事請負金額は、前年比3.9%増加と横這い圏内での推移となっている。
住宅建築	横ばい圏内で推移している。2018年度上期の北九州市の新設住宅着工戸数は前年同期比で18.9%減少した。	今年7-9月期の新設住宅着工戸数は、前年度比20.4%増加と2四半期ぶりに前年を上回った。貸家、分譲の着工が増加している。	今年7-9月期の新設住宅着工戸数は、前年比11.4%減少と2四半期連続で前年を下回った。前年に分譲マンションの着工が集中した反動もあって、分譲の着工が大幅な前年割れとなっている。
雇用情勢	引き続き改善しており、2018年9月の有効求人倍率は1.45倍(前年比+0.06ポイント)と、前年を上回った。	今年7-9月期の有効求人倍率が1.59倍と27年ぶりの高水準で推移するなど、労働需給が逼迫している。	今年7-9月期の有効求人倍率は2.14倍と一段と上昇し、労働需給が逼迫している。卸売、小売や製造業等で新規求人数が増加傾向となっている。
企業倒産	2018年度上期の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数、負債総額ともに前年を上回った。	平成30年度累計(4-9月)の倒産件数が前年を上回っているものの、負債総額が前年比で7割超減少しており、沈静化した状況が続いている。	平成30年度累計(4-9月)の企業倒産は、件数が前年を若干上回ったほか、大型倒産の発生によって負債総額も大幅に前年を上回る水準となった。

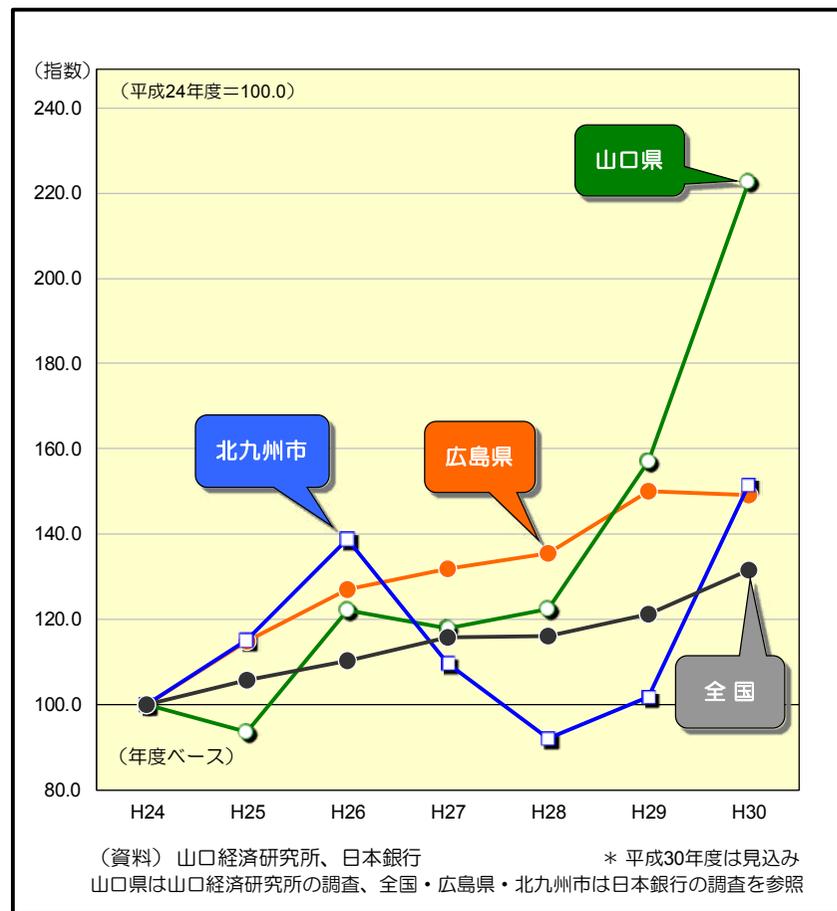
地域経済概況(鉱工業生産・設備投資)

- 鉱工業生産指数: 西日本豪雨の影響で広島・山口県の生産水準が大幅に低下するも足元で持ち直し
- 設備投資計画額(平成30年度): 山口県(前年度比+41.7%)が3年連続のプラス、広島県(同▲0.6%)が6年ぶりのマイナス、北九州市(同+49.1%)が2年連続のプラス

鉱工業生産指数の推移



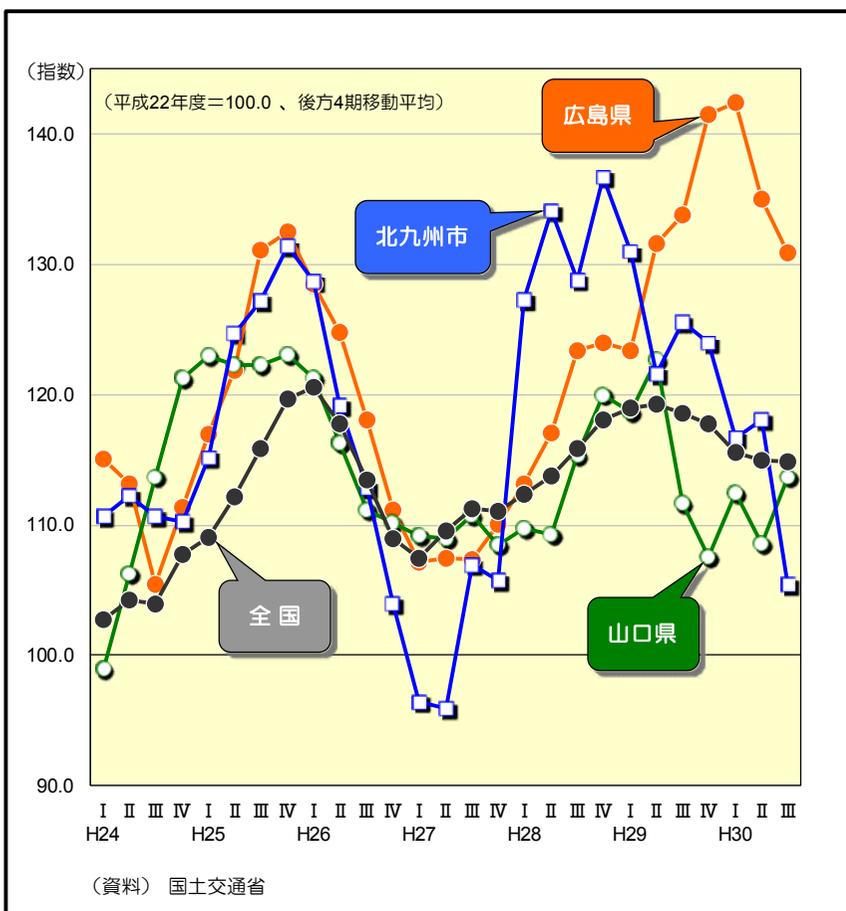
設備投資額の推移



地域経済概況(住宅建築・雇用情勢)

- ◆住宅着工戸数: 山口県の着工戸数は、貸家、分譲マンションの増加から全体でも堅調に推移
- ◆雇用情勢: 有効求人倍率が一段と上昇するなど、労働需給は逼迫

新設住宅着工戸数の推移



有効求人倍率の推移



業績推移(1)FG連結・3行合算

FG連結

(億円)

	2014/9 (半期)	2015/3 (通期)	2015/9 (半期)	2016/3 (通期)	2016/9 (半期)	2017/3 (通期)	2017/9 (半期)	2018/3 (通期)	2018/9 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	555	1,148	542	1,035	498	1,040	546	1,090	528	△ 18
コア業務純益	130	314	148	251	99	283	201	385	167	△ 34
経常利益	210	473	259	497	251	467	272	478	191	△ 81
当期利益	134	305	174	322	169	315	187	329	130	△ 57
ROE	5.06%	5.61%	6.09%	5.62%	5.81%	5.31%	5.99%	5.20%	3.95%	-2.04%
総資産	97,383	101,951	100,329	104,380	101,666	102,257	103,358	103,665	103,667	309
BIS比率	13.21%	13.43%	12.94%	13.37%	13.52%	13.91%	14.84%	13.29%	14.23%	-0.61%

3行合算

(億円)

	2014/9 (半期)	2015/3 (通期)	2015/9 (半期)	2016/3 (通期)	2016/9 (半期)	2017/3 (通期)	2017/9 (半期)	2018/3 (通期)	2018/9 (半期)	前年同期比
コア業務粗利益	527	1,087	518	976	463	953	493	978	476	△ 17
資金利益	473	974	478	925	436	891	462	913	463	1
役務取引等利益	60	125	62	118	57	118	61	121	48	△ 13
経費	383	750	350	692	354	680	286	574	290	4
人件費	166	329	162	323	164	310	145	281	140	△ 5
物件費	194	380	164	326	163	323	120	247	126	6
コア業務純益	143	336	168	283	109	272	207	403	186	△ 21
経常利益	225	497	282	533	262	459	274	495	210	△ 64
当期利益	155	321	204	370	183	317	201	365	156	△ 45
与信関係費用	△ 27	△ 41	△ 14	△ 35	△ 27	△ 19	△ 10	10	18	28

※記載金額の単位未満は切捨て表示

業績推移(2) 各行単体

各行単体		(億円)									
		2014/9 (半期)	2015/3 (通期)	2015/9 (半期)	2016/3 (通期)	2016/9 (半期)	2017/3 (通期)	2017/9 (半期)	2018/3 (通期)	2018/9 (半期)	前年同期比
山口銀行	コア業務粗利益	289	594	276	507	241	500	264	519	264	0
	資金利益	258	535	259	504	235	470	252	494	265	13
	役務取引等利益	37	77	39	74	35	72	38	77	33	△ 5
	経費	189	369	166	324	168	327	138	282	143	5
	人件費	78	155	76	150	78	149	69	134	69	0
	物件費	100	195	78	154	77	157	59	125	63	4
	コア業務純益	99	224	109	183	72	172	125	237	121	△ 4
	経常利益	147	313	184	347	125	269	187	327	142	△ 45
	当期利益	98	200	132	247	86	185	137	240	105	△ 32
	与信関係費用	△ 10	△ 6	0	△ 15	△ 4	1	△ 1	7	17	18
もみじ銀行	コア業務粗利益	183	382	187	356	166	340	171	341	154	△ 17
	資金利益	165	340	168	319	149	315	156	310	143	△ 13
	役務取引等利益	19	38	18	35	19	38	19	36	12	△ 7
	経費	148	289	137	274	138	261	107	211	108	1
	人件費	67	132	63	129	64	119	54	105	51	△ 3
	物件費	72	140	64	127	62	122	44	87	46	2
	コア業務純益	34	93	50	81	28	78	64	129	46	△ 18
	経常利益	60	154	84	154	114	157	63	120	46	△ 17
	当期利益	45	106	63	104	81	109	47	91	35	△ 12
	与信関係費用	△ 10	△ 25	△ 15	△ 18	△ 9	△ 11	△ 4	9	2	6
北九州銀行	コア業務粗利益	54	110	55	112	55	112	57	117	57	△ 0
	資金利益	49	98	50	102	52	105	53	108	55	2
	役務取引等利益	4	8	3	8	3	7	3	7	1	△ 2
	経費	45	91	46	93	47	91	40	81	38	△ 2
	人件費	20	41	21	43	21	42	21	41	19	△ 2
	物件費	21	43	21	43	22	43	16	34	17	1
	コア業務純益	9	18	8	18	8	21	17	36	18	1
	経常利益	17	29	14	31	22	32	22	47	21	△ 1
	当期利益	10	15	9	18	15	22	16	34	15	△ 1
	与信関係費用	△ 7	△ 9	0	△ 2	△ 12	△ 8	△ 3	△ 5	△ 1	2

※記載金額の単位未満は切捨て表示

貸出金推移(末残)

山口銀行

(億円)

	2014/9	2015/3	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	前年同期比
国内貸出金合計	32,931	34,135	34,123	34,496	34,999	35,908	36,731	38,084	38,933	2,202
法人貸出金	22,378	23,379	22,989	23,021	23,067	23,608	24,018	25,068	26,196	2,177
大企業	10,252	10,709	10,874	10,535	11,015	11,209	11,611	11,941	13,106	1,494
中堅企業	957	932	948	926	897	893	871	892	862	△ 9
中小企業等	11,168	11,737	11,167	11,559	11,155	11,506	11,535	12,234	12,227	692
地公体	5,234	5,296	5,586	5,728	6,080	6,207	6,494	6,673	6,344	△ 150
外郭団体	61	71	38	62	31	74	47	47	31	△ 16
個人ローン	5,257	5,387	5,509	5,683	5,820	6,016	6,171	6,295	6,362	190
住宅ローン	4,576	4,723	4,863	5,017	5,162	5,343	5,493	5,631	5,708	215
その他ローン	681	664	645	665	658	672	677	663	653	△ 24

もみじ銀行

(億円)

	2014/9	2015/3	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	前年同期比
国内貸出金合計	19,539	20,063	20,429	20,345	20,677	21,110	21,668	22,123	22,353	684
法人貸出金	12,154	12,358	12,366	12,126	12,280	12,682	13,256	13,725	13,916	660
大企業	3,248	3,336	3,035	3,020	2,793	2,805	3,010	3,140	3,385	375
中堅企業	603	643	647	608	612	682	671	708	694	23
中小企業等	8,302	8,378	8,683	8,498	8,874	9,194	9,575	9,876	9,836	260
地公体	2,988	3,175	3,449	3,416	3,371	3,200	3,168	3,103	3,139	△ 28
外郭団体	60	69	61	58	61	57	57	56	54	△ 3
個人ローン	4,335	4,460	4,551	4,743	4,964	5,169	5,186	5,238	5,242	55
住宅ローン	3,804	3,948	4,041	4,403	4,631	4,837	4,860	4,918	4,932	71
その他ローン	530	512	510	339	332	332	325	319	309	△ 16

北九州銀行

(億円)

	2014/9	2015/3	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	前年同期比
国内貸出金合計	8,417	8,691	9,074	9,552	10,074	10,395	10,745	11,324	11,454	709
法人貸出金	6,356	6,455	6,624	6,930	7,286	7,431	7,619	7,987	7,995	376
大企業	933	934	933	891	952	908	926	1,001	967	41
中堅企業	496	495	498	533	558	567	561	697	672	110
中小企業等	4,926	5,026	5,191	5,506	5,775	5,955	6,131	6,288	6,356	224
地公体	559	659	810	898	978	1,047	1,109	1,190	1,181	71
外郭団体	83	59	53	50	37	31	17	12	8	△ 9
個人ローン	1,418	1,516	1,586	1,672	1,771	1,884	1,997	2,134	2,268	271
住宅ローン	1,129	1,207	1,269	1,342	1,428	1,541	1,663	1,803	1,923	260
その他ローン	289	308	317	330	343	343	334	330	345	10

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

Yamaguchi Financial Group

預金推移(末残)

山口銀行

(億円)

		2014/9	2015/3	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	前年同期比
預金		51,655	54,467	52,647	55,610	53,073	51,953	53,094	52,644	52,723	△ 370
内容別	一般	44,866	46,740	45,597	46,792	45,910	46,337	46,627	45,804	46,445	△ 181
	うち個人	31,052	31,460	31,823	32,026	32,140	32,400	32,743	32,869	33,088	344
	うち法人	13,813	15,280	13,773	14,766	13,769	13,936	13,883	12,935	13,357	△ 526
	公金	2,913	2,769	2,969	2,717	3,025	2,859	3,088	3,144	3,297	209
	金融	3,875	4,957	4,080	6,100	4,137	2,756	3,378	3,695	2,980	△ 397
商品別	邦貨定期性預金	28,958	30,022	29,460	31,091	28,211	25,740	26,402	24,854	24,519	△ 1,883
	邦貨流動性預金	22,223	23,533	22,978	24,318	24,547	25,926	25,711	26,846	26,465	753
	外貨預金	472	911	209	201	314	286	979	943	1,739	759

もみじ銀行

(億円)

		2014/9	2015/3	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	前年同期比
預金		28,112	29,455	29,150	29,806	29,204	29,858	29,653	29,483	29,865	211
内容別	一般	26,518	27,237	27,233	27,423	27,292	27,899	28,353	28,630	28,798	444
	うち個人	20,022	20,324	20,431	20,449	20,610	20,879	21,202	21,407	21,687	484
	うち法人	6,495	6,912	6,802	6,973	6,682	7,020	7,151	7,222	7,111	△ 39
	公金	834	1,469	1,156	1,626	1,163	1,321	788	384	579	△ 209
	金融	759	749	761	757	747	636	511	468	487	△ 24
商品別	邦貨定期性預金	15,529	16,493	15,978	16,230	15,441	15,564	14,892	14,254	14,395	△ 497
	邦貨流動性預金	12,519	12,897	13,107	13,496	13,678	14,214	14,689	15,091	15,334	644
	外貨預金	63	64	64	79	84	78	71	137	135	64

北九州銀行

(億円)

		2014/9	2015/3	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	前年同期比
預金		8,616	8,948	9,449	9,774	10,307	10,731	11,020	11,664	11,281	261
内容別	一般	8,084	8,452	8,581	9,006	9,239	9,701	9,427	9,760	9,551	124
	うち個人	4,692	4,895	4,976	5,051	5,157	5,328	5,435	5,447	5,532	96
	うち法人	3,392	3,556	3,605	3,955	4,082	4,373	3,991	4,313	4,018	27
	公金	432	267	647	385	575	560	1,030	1,315	1,103	73
	金融	98	228	220	382	492	468	563	589	627	64
商品別	邦貨定期性預金	5,240	5,322	5,873	5,961	6,393	6,583	6,612	6,616	7,029	417
	邦貨流動性預金	3,310	3,547	3,506	3,752	3,859	4,086	4,353	4,969	4,190	△ 162
	外貨預金	65	78	69	60	55	61	54	78	61	7

※計数は国内勘定のみ。記載金額は単位未満を切捨て表示

※NCD含む

資金運用勘定・資金調達勘定推移(平残)

山口銀行 (億円)

	2014/9	2015/3	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	前年同期比
資金運用勘定計	52,804	53,425	55,682	55,389	55,922	55,732	55,275	55,167	56,024	749
貸出金	32,785	33,160	34,242	34,236	34,530	35,052	36,382	36,911	38,534	2,152
有価証券	16,072	16,047	14,894	14,636	13,385	12,940	11,428	11,151	10,288	△ 1,140
コールローン	1,793	2,019	2,703	2,602	3,870	3,687	3,166	2,762	2,502	△ 664
資金調達勘定計	50,792	51,348	53,546	53,265	53,856	53,497	53,015	53,000	53,955	940
預金	46,565	46,838	48,253	47,807	48,599	48,075	47,591	47,825	49,172	1,581
譲渡性預金	3,488	3,745	4,763	4,918	4,488	4,514	4,577	4,302	3,968	△ 609
コールマネー	925	896	659	624	701	812	818	793	311	△ 507

もみじ銀行 (億円)

	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	30/9期	前年同期比
資金運用勘定計	28,381	28,536	29,390	29,327	29,550	29,873	30,020	30,011	30,161	141
貸出金	19,120	19,376	20,060	20,221	20,383	20,618	21,181	21,482	22,132	951
有価証券	7,050	6,992	6,962	6,903	7,460	7,561	7,054	6,717	6,174	△ 880
コールローン	441	443	503	542	143	81	43	84	52	9
資金調達勘定計	27,622	27,766	28,620	28,539	28,896	29,084	29,654	29,732	30,209	555
預金	26,407	26,533	27,136	27,147	27,387	27,514	28,183	28,328	28,797	614
譲渡性預金	969	980	1,270	1,208	1,129	1,071	1,052	988	1,034	△ 18
コールマネー	9	10	12	17	303	452	312	272	165	△ 147

北九州銀行 (億円)

	26/9期	27/3期	27/9期	28/3期	28/9期	29/3期	29/9期	30/3期	30/9期	前年同期比
資金運用勘定計	8,781	8,927	9,459	9,686	10,335	10,586	11,202	11,388	12,116	914
貸出金	8,146	8,296	8,779	9,026	9,675	9,930	10,440	10,670	11,316	876
有価証券	168	177	194	195	193	195	210	215	224	14
コールローン	47	41	28	17	2	2	17	16	3	△ 14
資金調達勘定計	8,081	8,228	8,759	8,981	9,629	9,875	10,514	10,704	11,419	905
預金	7,459	7,618	8,034	8,173	8,475	8,577	8,993	8,987	9,293	300
譲渡性預金	617	602	712	763	932	985	1,206	1,168	1,341	135
コールマネー	1	4	0	33	211	302	304	539	777	473

※金額は単位未満を四捨五入表示。

利回り・利鞘推移

山口銀行		2014/9	2015/3	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	前年同期比
資金運用利回	①	1.070	1.093	1.019	1.000	0.919	0.931	0.998	0.990	1.056	0.058
貸出金利回	ア	1.262	1.248	1.191	1.186	1.122	1.112	1.090	1.084	1.103	0.013
有価証券利回		0.884	0.997	0.971	0.906	0.890	0.937	1.269	1.213	1.483	0.214
コールローン利回		0.209	0.218	0.300	0.332	0.069	0.065	0.130	0.173	0.290	0.160
資金調達利回	②	0.097	0.095	0.092	0.093	0.084	0.090	0.089	0.098	0.117	0.028
預金利回		0.084	0.081	0.079	0.078	0.062	0.061	0.058	0.069	0.093	0.035
譲渡性預金利回		0.094	0.097	0.095	0.091	0.027	0.022	0.016	0.016	0.014	△ 0.002
コールマネー利回		0.428	0.453	0.557	0.726	1.238	1.448	1.592	1.462	2.515	0.923
経費率	③	0.745	0.720	0.620	0.609	0.623	0.612	0.521	0.532	0.529	0.008
資金調達原価	(②+③) ④	0.842	0.815	0.713	0.702	0.707	0.702	0.610	0.631	0.646	0.036
預金等原価	イ	0.841	0.813	0.707	0.695	0.692	0.681	0.584	0.606	0.625	0.041
預金等利回	ウ	0.085	0.082	0.080	0.079	0.059	0.057	0.055	0.065	0.087	0.032
経費率		0.756	0.730	0.626	0.615	0.632	0.623	0.529	0.541	0.537	0.008
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.421	0.435	0.484	0.491	0.430	0.431	0.506	0.478	0.478	△ 0.028
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.177	1.166	1.111	1.107	1.063	1.055	1.035	1.019	1.016	△ 0.019
預証単純利鞘		0.799	0.915	0.891	0.827	0.831	0.880	1.214	1.148	1.396	0.182
もみじ銀行		2014/9	2015/3	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	前年同期比
資金運用利回	①	1.237	1.261	1.203	1.150	1.072	1.119	1.102	1.098	1.020	△ 0.082
貸出金利回	ア	1.412	1.379	1.291	1.276	1.205	1.185	1.116	1.102	1.052	△ 0.064
有価証券利回		1.114	1.289	1.322	1.113	0.931	1.167	1.312	1.353	1.176	△ 0.136
コールローン利回		0.124	0.122	0.119	0.104	0.011	0.030	0.210	0.157	0.650	0.440
資金調達利回	②	0.073	0.070	0.061	0.062	0.065	0.066	0.063	0.063	0.070	0.007
預金利回		0.067	0.063	0.051	0.050	0.051	0.049	0.041	0.038	0.036	△ 0.005
譲渡性預金利回		0.116	0.115	0.099	0.095	0.039	0.031	0.017	0.016	0.011	△ 0.006
コールマネー利回		0.320	0.346	0.498	0.423	0.007	0.000	0.022	0.040	0.381	0.359
経費率	③	1.071	1.042	0.955	0.963	0.955	0.900	0.724	0.710	0.713	△ 0.011
資金調達原価	(②+③) ④	1.144	1.112	1.016	1.025	1.020	0.966	0.787	0.773	0.783	△ 0.004
預金等原価	イ	1.150	1.117	1.016	1.022	1.019	0.965	0.774	0.757	0.758	△ 0.016
預金等利回	ウ	0.069	0.065	0.053	0.052	0.051	0.049	0.040	0.037	0.035	△ 0.005
経費率		1.080	1.052	0.962	0.969	0.968	0.915	0.734	0.720	0.722	△ 0.012
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.262	0.262	0.275	0.254	0.186	0.220	0.342	0.345	0.294	△ 0.048
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.343	1.314	1.238	1.224	1.154	1.136	1.076	1.065	1.017	△ 0.059
預証単純利鞘		1.045	1.224	1.269	1.061	0.880	1.118	1.272	1.316	1.141	△ 0.131
北九州銀行		2014/9	2015/3	2015/9	2016/3	2016/9	2017/3	2017/9	2018/3	2018/9	前年同期比
資金運用利回	①	1.224	1.210	1.159	1.146	1.073	1.063	1.021	1.020	0.981	△ 0.040
貸出金利回	ア	1.271	1.251	1.196	1.178	1.098	1.083	1.044	1.033	0.998	△ 0.046
有価証券利回		2.004	2.000	2.066	2.141	2.174	2.302	2.313	2.515	2.443	0.130
コールローン利回		0.454	0.470	0.484	0.563	1.772	1.708	0.603	0.679	2.027	1.424
資金調達利回	②	0.117	0.111	0.102	0.100	0.074	0.069	0.074	0.074	0.077	0.003
預金利回		0.114	0.108	0.096	0.094	0.077	0.072	0.058	0.055	0.049	△ 0.009
譲渡性預金利回		0.138	0.139	0.153	0.151	0.056	0.049	0.040	0.035	0.024	△ 0.016
コールマネー利回		0.435	0.194	0.098	0.047	0.005	0.033	0.632	0.441	0.489	△ 0.143
経費率	③	1.114	1.107	1.063	1.041	0.979	0.923	0.767	0.760	0.681	△ 0.086
資金調達原価	(②+③) ④	1.232	1.218	1.165	1.141	1.053	0.992	0.841	0.834	0.758	△ 0.083
預金等原価	イ	1.231	1.218	1.166	1.146	1.077	1.023	0.847	0.855	0.777	△ 0.070
預金等利回	ウ	0.116	0.110	0.101	0.099	0.075	0.070	0.056	0.053	0.045	△ 0.011
経費率		1.115	1.108	1.065	1.046	1.002	0.953	0.791	0.801	0.731	△ 0.060
預貸金利鞘	(ア-イ)	0.040	0.033	0.030	0.032	0.021	0.060	0.197	0.178	0.221	0.024
預貸金単純利鞘	(ア-ウ)	1.155	1.141	1.095	1.079	1.023	1.013	0.988	0.980	0.953	△ 0.035
預証単純利鞘		1.888	1.890	1.965	2.042	2.099	2.232	2.257	2.462	2.398	0.141

※単位未満を切捨表示。

本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく変更されることがあります。本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意下さい。

【 本資料に関するお問い合わせ先 】

株式会社 山口フィナンシャルグループ

総合企画部 福富

カスタマーコミュニケーション部 木下

TEL 083-223-7120

FAX 083-233-5850

<http://www.ymfg.co.jp/>